

X 油津堀川運河・木橋（夢見橋）（宮崎県日南市、橋梁・高架橋）

X-1 事業条件の整理

【事業名】	油津堀川運河・木橋（夢見橋）	【事業分野】	橋梁・高架橋
【事業対象・規模】	対象：夢見橋（宮崎県日南市）、 木橋（屋根付きゲルパー桁橋） 規模：屋根全長：45.60m、橋長：18.45m 幅員：3.6m（最大4.7m）		
【事業主体】	宮崎県（港湾管理者）	【周辺関連事業】	身近なまちづくり支援街路事業（日南市）、まちづくり交付金事業（日南市）等
【景観検討の段階】	構想・計画・設計・施工・維持管理		
【事業期間・施工】	平成14年度～平成19年度（H19.8供用開始）		
【事業概要】	<p>油津港堀川運河は、江戸初期に、地場産材・飫肥杉の搬出のための運河として開削された。昭和初期までは飫肥杉搬出場として繁栄した、歴史的石積護岸等の残る歴史的施設である。</p> <p>当初、市民による埋立反対運動により歴史的港湾施設として再生されることになり、H6「歴史的港湾環境創造事業」の指定を受けた。その後、専門家による現地視察をきっかけに、文化財に関する価値評価に関する調査が実施され、堀川運河の石垣等の保存・修復を軸にこの歴史遺産を活用しながら、関連する事業と連携して、堀川運河を中心としたウォーターフロント・デザイン、更には地区全体の魅力的なまちづくりを進めてきている。</p> <p>運河に架かる木橋・夢見橋の整備においては、地場産飫肥杉の利活用及び可能性、維持管理のための将来に亘る持続可能な地場産材の供給システムの構築等について技術的検討を行うため、県・市・地元木材関係者・設計者による協議・調整等を行い、地元大工有志がボランティアで1/5あるいは原寸の模型製作を行うなど、地元住民の自主的な取組み意識が高まっている。</p> <p>事業実施では、景観専門家を含むデザインチームを結成し、様々な事業調整・連携を図りつつ、行政、専門家、地域住民等が一体となった検討体制＝「油津地区・都市デザイン会議」を構築している。また、日南市都市建設課がH14.4、公募による「日南市まちづくり市民協議会」を立ち上げ、まちづくり市民活動の中核的役割を担っている。</p>		



図 事例対象位置図



図 事例対象位置図（詳細）

【整備前後の写真】

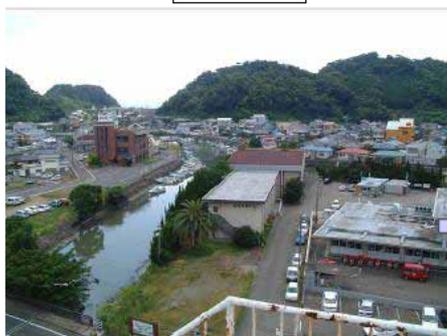
整備前



整備後



整備前



整備後



X-2 調査対象とする景観向上効果の選定

計画・設計の意図	景観に配慮した内容	想定された効果
<b>A. 親水性の高い歩行・滞留空間の創出・回遊性の向上</b>		
1 木材の使用による人の利用にやさしい歩行・滞留空間の創出	○利用者の利用の快適性に配慮し、地場産材の飫肥杉をふんだんに使用した屋根付き人道橋を整備し、人にやさしく快適な歩行・滞留空間を創出	●意識変化（親しみ・愛着、誇り） ●利用形態・頻度等の
2 運河兩岸を結ぶ橋梁の整備による回遊性の向上	○地区全体の回遊動線を検討した上で、運河を挟んだ対岸相互の行き来に配慮し、夢見橋の整備による回遊性の向上を図った。	変化、地域活動（イベント・行事）活性化、環境保全・学習活動
<b>B. 地域のシンボルとなる歴史的景観資源等を意識した整備</b>		
1 歴史的な石積み護岸や周辺景観整備を顕在化させる視点場（夢見橋）の整備	○堀川運河に架かる「夢見橋」を新たな視点場として活用し、運河の歴史的な石積み護岸や関連事業等の景観整備により形成された魅力的な景観資源を顕在化させた。	●意識変化（親しみ・愛着、誇り） ●利用形態・頻度等の変化、地域活動（イベント・行事）活性化、環境保全・学習活動 ●視点場の形成（周囲の景観資源を顕在化させる新たな視点場の創出）
<b>C. 地域性の演出</b>		
1 地場産材の飫肥杉や飫肥石の活用による地域性の演出	○地場産材である飫肥杉・飫肥石を活用した。	●意識変化（親しみ・愛着、誇り）
2 地域の寺社を参考とした素材の採用	○鶴戸神宮を参考とし、屋根は銅板とした	●利用形態・頻度等の
3 地場産材・工法の活用による地域性の演出と地場産業の活性化	○地場産材である飫肥杉の木材供給システムの構築をも視野に入れて、地元職人の技術と伝統的な工法を採用して地域性の演出と地場産業活性化を図った。	変化、地域活動（イベント・行事）活性化、環境保全・学習活動

X-3 調査手法と対象、及び調査範囲

調査手法		対象	調査範囲等
アンケート調査	整備対象位置周辺の地元住民	夢見橋利用者 ※回収結果：82票	 <p>●：ヒアリング先 □：聞き取りアンケート範囲</p>
	整備対象の位置する市町村の地域住民	日南市油津地区住民 1000人（無作為抽出） ※回収結果： 324/1,000通 （回収率 32.4%）	
	現地来訪者（観光客を含む）	夢見橋利用者 ※回収結果：82票	
ヒアリング調査	事業主体（行政）関係者	①宮崎県県土整備部都 ②宮崎県油津港湾事務所 ③日南市建設課 ④日南市教育委員会 ⑤日南市役所商工観光課 ⑥設計者 小野寺氏 ⑦設計者 南雲氏 ⑧施工者 熊田原氏	
	利用団体	NIC21 メンバー 横店 経営者	
	その他	都写真館 大日建設株式会社社員 南郷信用金庫社員 日南第一ホテル社員 日南郵便局社員 ゲオ店長 堀川苑ディサービスセンター勤務者	
現地観測調査	平日、休日		

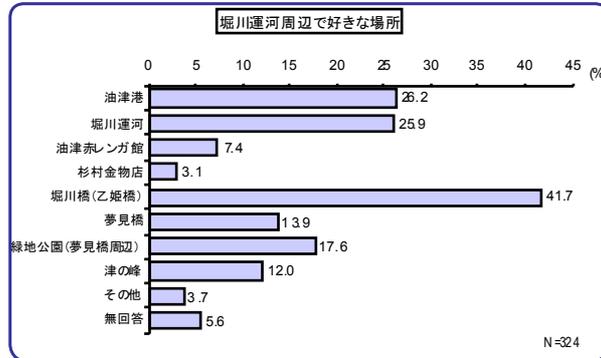
X-4 事後評価結果

①確認された景観向上効果

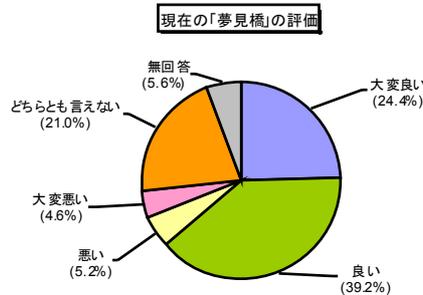
景観整備による効果	調査結果	調査手法
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">整備された空間に対する認知・印象</p>	<p>①整備した空間の機能向上に対する認知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「橋上にベンチが設置されているのが良い」(77%)</li> </ul> <p style="text-align: center;">夢見橋の上にベンチを設置していることについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢見橋に屋根が付いているのが良い」(70%)</li> </ul> <p style="text-align: center;">夢見橋に屋根が付いていることについて</p>	<p>アンケート (油津地区 住民 N=324)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「河風が気持ちよい」「風通しはいいのですごく過ごしやすい」「真夏でも夢見橋にいと、下が川でとてもすずしい」</li> <li>・「夢見橋に座ってながめるのがよい」</li> <li>・「かつての象川橋と同じ場所に夢見橋をつくったのが良い」(54%)</li> </ul> <p style="text-align: center;">昔の象川橋と同じ場所に夢見橋をつくったことについて</p>	<p>アンケート (油津地区 住民 N=305)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢見橋の上のベンチから周囲の風景を眺められるのが良い」(76%)</li> <li>・「夢見橋に屋根が付いているのが良い」(71%)</li> </ul>	<p>アンケート (利用者 直接聞き取り N=82)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢見橋に屋根が付いているのが良い」(85%)</li> <li>・「夢見橋の上のベンチから周囲の風景を眺められるのが良い」(75%)</li> </ul>	<p>アンケート (近隣住民 直接聞き取り N=20)</p>

②整備した空間の印象の向上

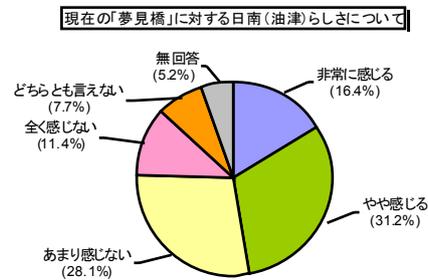
・「堀川運河周辺で最も好きな場所は、夢見橋である」(45名)



・現在の夢見橋に対する評価「大変良い」「良い」(64%)



・「(今現在の) 夢見橋に日南らしさを感じる」(48%)



・「夢見橋に飼肥杉と飼肥石を使ったところが良い」(86%)

・「木の香りなどが自然を感じられた」「涼しいイメージの橋」「温かみがあって気持ちになごむ」

・現在の夢見橋に対する評価「大変良い」「良い」(87%)

・「夢見橋に飼肥杉と飼肥石を使ったところが良い」(76%)

・現在の夢見橋に対する評価「大変良い」「良い」(60%)

・「夢見橋に飼肥杉と飼肥石を使ったところが良い」(50%)

・「気分が落ち着く。会社で仕事をしていても眺めが良い」

・(竣工式当日) 夢見橋に対する評価「大変良い」「良い」(92%)

・(竣工式当日) 夢見橋を渡ってみた上での評価「大変良い」「良い」(97%)

アンケート  
(油津地区  
住民 N=324)

アンケート  
(利用者  
直接聞き取  
り N=82)

アンケート  
(近隣住民  
直接聞き取  
り N=20)

文献(竣工式  
当日のアン  
ケート結果  
より N=61)

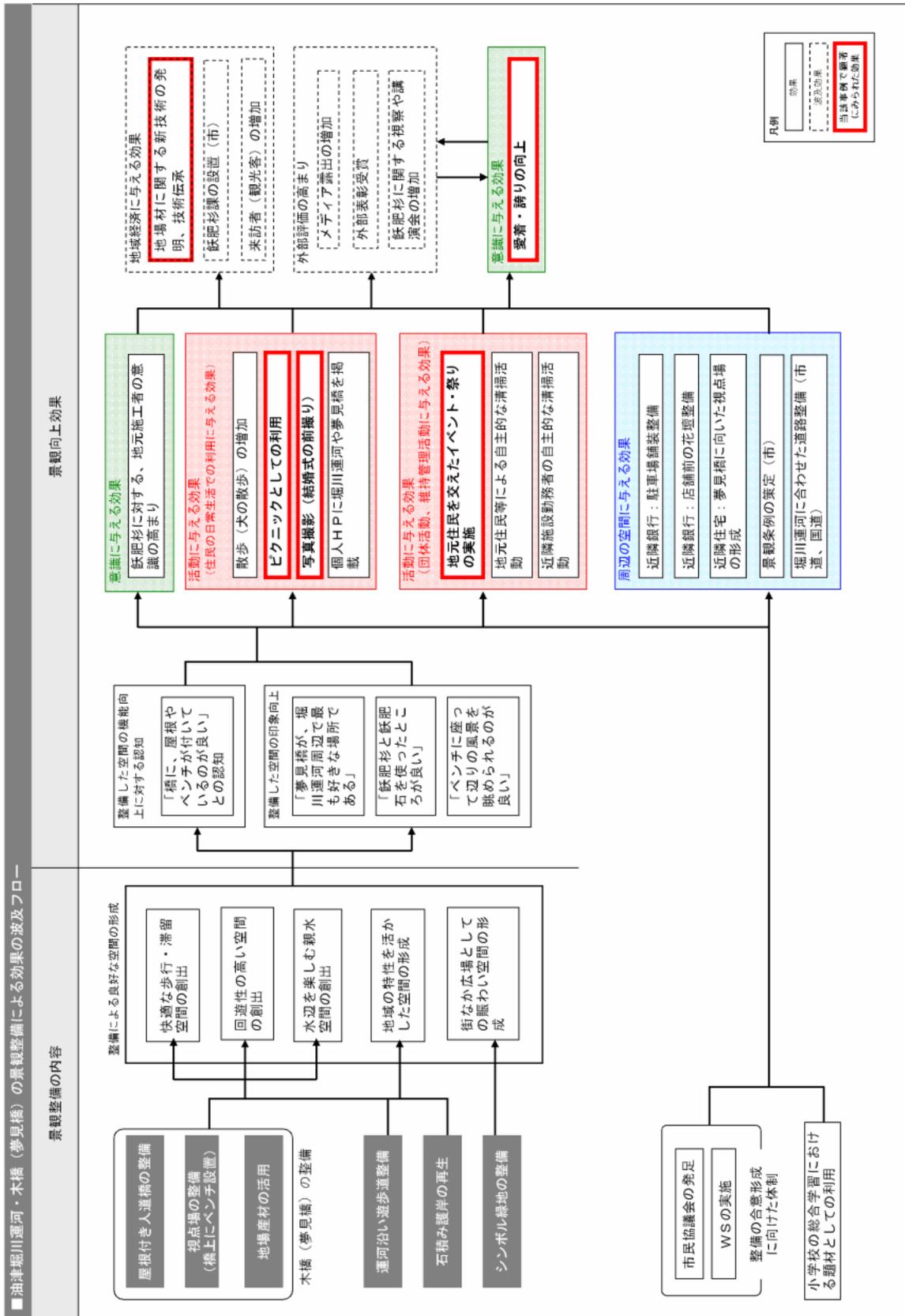
意識に与える効果	①親しみ・愛着、誇りの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(今現在の) 夢見橋に親しみ・愛着を感じる」 (62%)</li> </ul> <p style="text-align: center;">夢見橋に対する親しみ・愛着について</p>	アンケート (油津地区 住民 N=324)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(今現在の) 夢見橋に親しみ・愛着を感じる」 (56%)</li> </ul>	アンケート (利用者 直接聞き取り N=82)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(今現在の) 夢見橋に親しみ・愛着を感じる」 (65%)</li> </ul>	アンケート (近隣住民 直接聞き取り N=20)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(今現在の) 夢見橋を誇りに感じる」 (52%)</li> </ul> <p style="text-align: center;">夢見橋に対する誇りについて</p>	アンケート (油津地区 住民 N=324)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(今現在の) 夢見橋を誇りに感じる」 (50%)</li> </ul>	アンケート (利用者 直接聞き取り N=82)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(今現在の) 夢見橋を誇りに感じる」 (70%)</li> </ul>	アンケート (近隣住民 直接聞き取り N=20)
	③景観やまちづくり、環境等に関する意識の高まり	<p>[施工者の意識向上]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飢肥杉に対する想いが強まった。施工に関わった大工達は楽しんでやっていた。生き生きしていた</li> <li>・ 施工者が自主的に模型を製作し、技術的な検討を行った</li> </ul>	ヒアリング (施工者)
	④住民・行政・設計者・施工者の信頼関係の構築	<p>[行政への印象]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備計画作成に住民の意見を反映させたことは良かった。そのためか、住民説明会の反応は良かったように感じる</li> <li>・ 住民の意見を吸い上げてデザインを考え、その案をデザイン会議にかけた。これは、住民が夢見橋に対して愛着や誇りを持つ契機になると考える</li> <li>・ 夢見橋は、住民の意見を聴いてくれたと思う。有る程度、住民の意見がデザインに反映されていると感じる</li> <li>・ 県の反応が早く対応が良いと感じた</li> </ul>	ヒアリング (活動団体)

活動に与える効果	住民の日常生活での利用に与える効果	①利用の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>「散歩・ジョギング・ウォーキングとして利用するようになった、利用頻度が増えた」(77名)</li> <li>「通勤・通学・買い物等目的地までの通り道として利用するようになった、利用頻度が増えた」(55名)</li> <li>「来訪者への案内をするようになった、回数が増えた」(49名)</li> <li>「イベントへの参加・鑑賞をするようになった、利用頻度が増えた」(45名)</li> <li>「夢見橋周辺で休憩・飲食をするようになった、利用頻度が増えた」(36名)</li> </ul>	アンケート (油津地区住民 N=305)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「散歩・ジョギング・ウォーキングとして利用するようになった、利用頻度が増えた」(15名)</li> <li>「通勤・通学・買い物等目的地までの通り道として利用するようになった、利用頻度が増えた」(9名)</li> <li>「夢見橋周辺で休憩・飲食をするようになった、利用頻度が増えた」(5名)</li> <li>「イベントへの参加・鑑賞として利用するようになった、利用頻度が増えた」(4名)</li> <li>「散歩・ジョギング・ウォーキングとして利用するようになった、利用頻度が増えた」(6名)</li> </ul>	アンケート (利用者直接聞き取り N=82)	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>観光バスが停まるようになった</li> <li>堀川運河の観光ツアーへの申し込み者の増加</li> </ul>	アンケート (近隣住民直接聞き取り N=20) ヒアリング (事業者[日南市]、地元住民)
		②利用の多様化	<ul style="list-style-type: none"> <li>「散歩している人よりも団体で来ている人の方が多いと思う」</li> <li>「学生達は待ち合わせなどに利用している」</li> <li>「夢見橋に書いたメッセージを見に来た」</li> <li>お弁当を持参して橋上で食べる等、ピクニックとしての利用</li> <li>犬の散歩(特に朝と夕方が多い)</li> </ul>	アンケート
			 <p>ベンチで休憩・ピクニック</p>	現地観測
			<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚式の前撮り(6組)</li> <li>通学途中の小学生が雨宿り</li> <li>おやつ時間に皆で夢見橋まで散歩に行く</li> <li>小学校の総合学習での、夢見橋の見学(ここでは、夢見橋の作り方や屋根がついた理由などを事業者と施工者が説明。子供達への景観情操教育や飢肥杉等の地場材についての知識を深めると共に、事業者、施工者との交流にも繋がった)</li> <li>総合学習が終わった後も、気になって夢見橋を訪れる小学生も見られる</li> </ul>	ヒアリング (隣接する銀行の職員/写真屋、地元住民、運河沿いのサービスセンター職員、日南市、施工者)
			<ul style="list-style-type: none"> <li>「子供達も橋づくりに参加したことを自分の子供に教えると喜んでいた。子供は橋は大人がつくるものだと思っているから、関心を持つようだ」</li> </ul>	アンケート (利用者直接聞き取り N=82)

団体活動・維持管理活動に与える効果	①イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者と住民、木橋建設関係者を中心に「堀川に屋根付き橋をかくっかい実行委員会」が結成され、市民みんなで完成を祝うイベント（上棟式、竣工式）が企画・運営の上、実施された</li> <li>上記委員会メンバーは、小中学校や市民に記念メッセージや愛称の募集、飴肥杉紙芝居や木橋の施工技術の説明などを展開</li> <li>竣工式には、約 5000 人が参加</li> </ul>	ヒアリング（活動団体） 文献	
	②維持管理活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢見橋周辺が整備されたことをきっかけに、清掃活動を始めた。毎日実行している。今は日南市から、ゴミ袋等を提供してもらっている</li> <li>社内で毎月行っている清掃活動のコースに変化有り。夢見橋の方を廻るようになった</li> <li>夢見橋に面している駐車場を清掃</li> <li>「夢見橋や緑地公園での清掃活動」の頻度が増えたと回答した人は、13 人であった。</li> </ul>	ヒアリング（地元住民） ヒアリング（隣接する銀行の職員） ヒアリング（隣接する建設会社の職員） アンケート（油津地区住民 N=324）	
	③地域団体の活動の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>「堀川に屋根付き橋をかくっかい実行委員会」の結成</li> </ul>	ヒアリング（活動団体）	
景観整備による波及効果		調査結果	調査手法	
周辺の空間に与える効果	隣接する空間整備に与える効果	②建築外構の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢見橋に面する駐車場を整備。舗装を敷き直し、花壇を設置</li> </ul> 	アンケート 現地観測
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「自宅や店舗を堀川運河や夢見橋に配慮した改装を行った」(9 名)</li> <li>「夢見橋や堀川運河が見えるように垣根や塀を変えた」(1 名)</li> <li>「自宅や店舗を堀川運河や夢見橋に配慮した改装を行った」(1 名)</li> <li>「夢見橋や堀川運河が見えるように垣根や塀を変えた」(1 名)</li> <li>「自宅や店舗を堀川運河や夢見橋に配慮した改装を行った」(1 名)</li> </ul>	アンケート（油津地区住民 N=324） アンケート（利用者直接聞き取り N=82） アンケート（近隣住民直接聞き取り N=20）	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢見橋に向けて、ベンチを設置した。自分たちの庭のように思っている</li> </ul> 	ヒアリング (地元住民)
良好な景観形成に寄与する制度等の構築	①景観条例、景観計画等の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会による検討を経て、日南市景観条例および日南市景観計画を策定</li> </ul>	ヒアリング (事業者[日南市])
	②景観形成に関する協議会の設置		
地域経済に与える効果	①地場産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場材に関する新技術の発明</li> <li>・地場材に関する技術の伝達(小学校での総合学習を通じて)</li> <li>・市役所内に「飢肥杉課」を設立。各課(商工、文化、建設、農林)を横断し、飢肥杉の普及をテーマとして、プロモーションを実施</li> </ul>	ヒアリング (事業者[日南市]、施工者)
外部評価の高まり	②マスコミ・メディア掲載の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの講演依頼</li> <li>・視察者の増加</li> <li>・テレビや雑誌、新聞の取材の増加</li> </ul>	ヒアリング (施工者)

②効果の波及フロー図



③プロット図



ベンチで休憩



お弁当を広げてピクニック



橋上のベンチで休憩する様子



屋根付き橋の下でお弁当持参のピクニック



夢見橋に面する駐車場を整備。舗装を敷き直し、花壇を設置





夢見橋に向けて、ベンチを設置した。自分たちの庭のように思っている

- ・ 結婚式の前撮り（6組撮影済み）
- ・ 通学途中の小学生が雨宿り
- ・ おやつ時間に皆で夢見橋まで散歩に行く
- ・ 観光バスが停まるようになった
- ・ 夢見橋周辺が整備されたことをきっかけに、清掃活動を始めた。毎日実行している。今は日南市から、ゴミ袋等を提供してもらっている
- ・ 社内で毎月行っている清掃活動のコースに変化有り。夢見橋の方を廻るようになった
- ・ 夢見橋に面している駐車場を清掃

X I 日向市駅周辺地区整備（宮崎県日向市、駅・駅前広場）

X I - 1 事業条件の整理

【事業名】	日向市駅周辺地区整備	【事業分野】	駅・駅前広場
【事業対象・規模】	対象：駅舎、鉄道高架橋、駅前広場、ストリートファニチャ 規模：中心商業地区再生事業：24.0ha、土地区画整理事業：17.6ha、連立事業 2.07km等		
【事業主体】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR九州</li> <li>・宮崎県</li> <li>・日向市</li> </ul>	【周辺関連事業】	特定商業集積整備事業、土地区画整理事業、連立事業等
【景観検討の段階】	構想・計画・設計・施工・維持管理		
【事業期間・施工】	平成10年度～平成18年度（H18.12供用開始）		
【事業概要】	<p>日向市は、宮崎県北部に位置し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、重要港湾細島港を拠点に、港湾工業都市として発展を遂げてきた中核都市である。10年ほど前に、街中にあった大型店舗が撤退し、駅前商店街の店舗はシャッターが目立つようになった。日向市では、このような状況を鑑み、街中の活性化を緊喫の課題として、平成8年度から中心市街地活性化策に取り組むこととなった。日向市駅をセンターコアとする中心市街地の97haを日向圏域の「生活・文化交流拠点地区」と位置づけ、都市基盤の整備改善と街中商業の活性化を一体的に図ることとした。具体的には、県事業によるJR日豊本線日向地区連続立体交差事業、市施工による駅周辺土地区画整理事業、地元商店街進行組合による商業集積事業と、3つの基幹事業を総合的、同時一体的に進めることとした。</p> <p>日向圏域の顔となる駅前空間の景観整備を図るため、学識経験者及び関係機関からなる「日向地区都市デザイン会議」や「日向市駅前広場整備検討委員会」を設置した。高架橋及び駅舎おはじめとする駅周辺のデザインについての方向性は、このデザイン会議の場で決めるスタイルにし、その決定事項はシンポジウム等で市民に公開した。</p> <p>舗装材の選定、サインの形式および基本色の選定にあたっては、完成している街区にて試験施工を実施し、市民にも開かれた格好で、その材料等の選定にあたった。</p>		



図 事例対象位置図

【整備前後の写真】



X I - 2 調査対象とする景観向上効果の選定

計画・設計の意図	景観に配慮した内容	想定された効果
<b>A. まち再生の中心となる空間形成</b>		
1 全覆い型の駅舎	○まちの中心としての象徴性の表現	●意識変化(親しみ・愛着、誇り) ●利用形態・頻度等の変化、地域活動(イベント・行事)活性化、環境保全・学習活動
2 駅前広場と高架下空間の一体的な整備	○東と西を結びつける町の中心としての市民広場	
3 多様な利用を考慮した駅前広場の創出	○多様な利用に対応できる緑地勾配の設定 ○適度な領域性の創出	
<b>B. 地域性の演出</b>		
1 地場産材の杉の活用による地域性の演出	○地域再生の象徴としての地元杉材の駅舎屋根への採用 ○街区のストリートファニチャーへの杉材の使用	●意識変化(親しみ・愛着、誇り)
2	○曲線の多様による、柔らかく優しい印象のする空間形成	
3 地域の史跡公園をイメージした公園	○特定史跡公園に指定されている西都原古墳群の景観を参考として設計を行った	
<b>C. 日向市を見渡す視点場の形成</b>		
1 駅ホームにおける視点場の形成	○地域の景観を感じられるよう、駅ホームの外壁にガラスを用い、海への眺望及び古墳への景観軸への眺望を確保	●視点場の形成(周囲の景観資源を顕在化させる新たな視点場の創出)
<b>D. 駅周辺の統一的な景観形成</b>		
1 屋根の色の統一	○初めて日向に来た訪問者が駅のプラットホームから最初に目にする屋根の色を統一	●意識変化(造形・空間の印象変化) ●商業活動の活性化
2 地区計画、デザインコードの設定	○ファサード、素材、セットバック等の統一した方針を設定し、地区の商業建築の統一感を得る。	●建物ファサードの変化、軒先空間の変化、周辺景観の改善、周辺施設の連帯性の向上

X I - 3 調査手法と対象、及び調査範囲

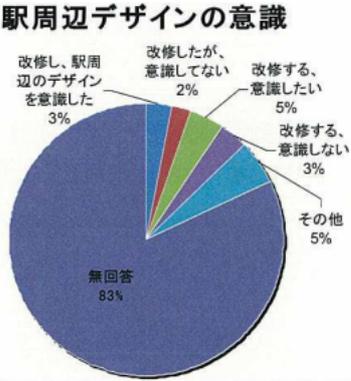
調査手法	対象	調査範囲等	
アンケート調査	整備対象位置周辺の地元住民		
ヒアリング調査	事業主体(行政)関係者		①宮崎県県土整備部 ②日向市建設部
	利用団体		①日向商工会議所 ②街育て隊 ③こども遊センター ④日向木の芽会 ⑤商店街組合
	設計関係者		①建築士会青年部
現地観測調査	平日		

XI-4 事後評価結果

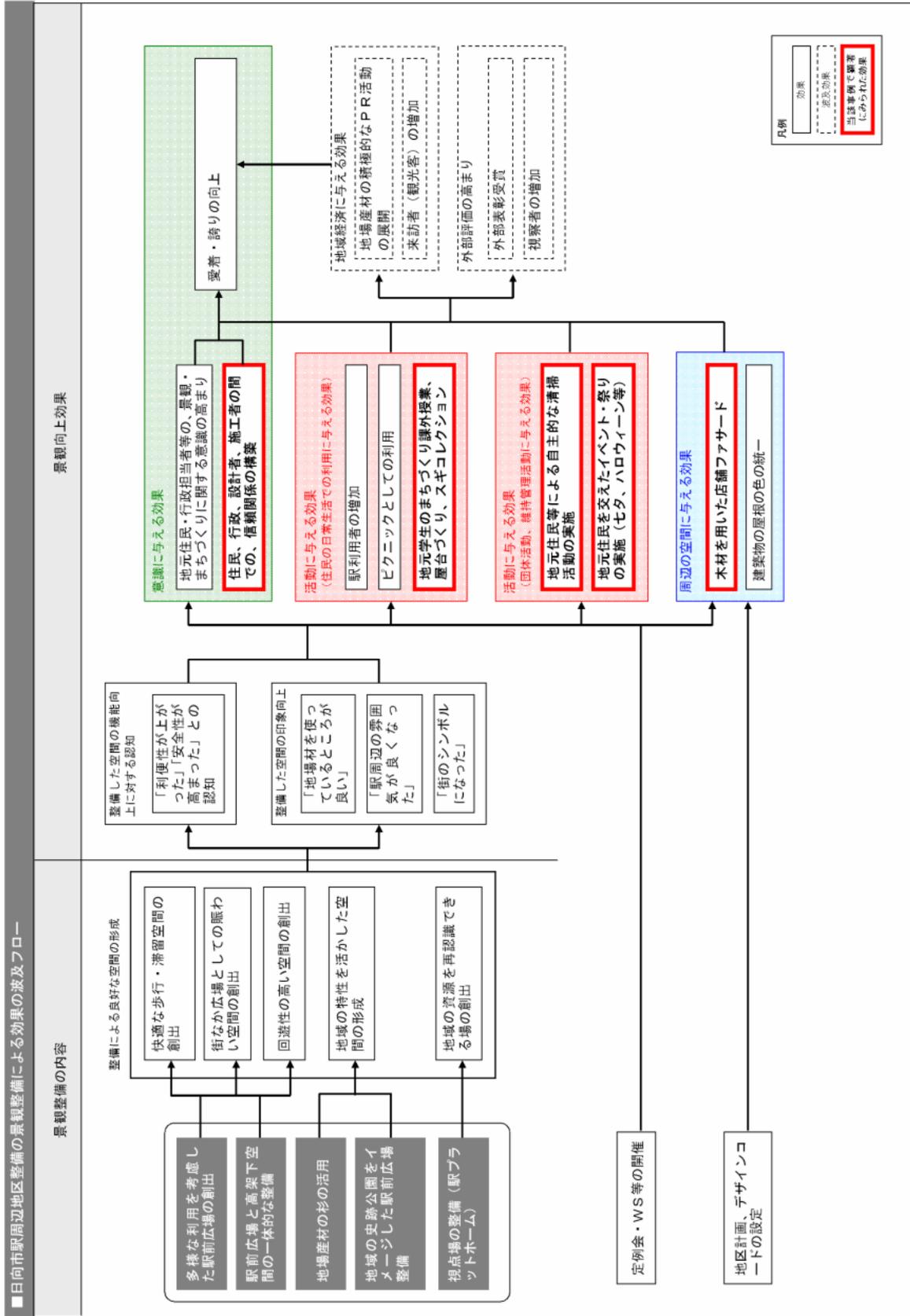
①確認された景観向上効果

景観整備による効果	調査結果	調査手法
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">整備された空間に対する認知・印象</p>	<p>①整備した空間の機能向上に対する認知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場は商売もできるように、レンガ舗装となっている。いろんなことに利用出来る広場づくりは良いと思う</li> <li>・交通渋滞について、「解消された」「やや解消された」(90%)</li> <li>・「東西駅前広場の利便性が上がった」(85%)</li> <li>・「安全面が向上した(自動車)」(85%)</li> <li>・「自転車での東西の行き来が良くなった」(62%)</li> <li>・「安全面が向上した(自転車)」(56%)</li> <li>・「歩行者にとって、東西の行き来が良くなった」(72%)</li> <li>・「新駅舎の利便性が上がった」(83%)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>新駅舎の利便性</b></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>駅前広場の利便性</b></p> </div> </div> <p>・「市役所や職場、病院、買い物に行きやすくなった」</p>	<p>ヒアリング (地元団体)</p> <p>アンケート (N=253)</p>
	<p>②整備した空間の印象の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎を見て、改めて杉の良さを実感した</li> <li>・ホームを降りたときに、木の香りがするのが良い</li> <li>・治安が向上したように感じられる。若者が高架下の明るいところに集まって円陣を組んでいる。普通は暗いところに集まることを考えると、良い効果だと考えられる</li> <li>・「東西駅前広場の印象が良い」(84%)</li> <li>・「駅舎に地場材を使用したところが良い」(88%)</li> <li>・「駅周辺地区の雰囲気、環境、まちの景観が良くなった」(86%)</li> <li>・「杉材を活用したまちづくりが良いと思う」(83%)</li> <li>・駅舎が完成して1年経った感想。「街のシンボルになったと感じる」(47%)</li> <li>・「駅プラットフォームからの街の眺めを気に入っている」(44%)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>駅前広場の印象</b></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>駅舎完成1年経った感想</b></p> </div> </div> <p>・「明るくなった」「あたたかみを感じる」「木のおいが良い」「柔らかな印象」「自然を感じる」「開放感がある」</p> <p>・「県外の来訪者も好感をもっている」</p>	<p>ヒアリング (地元団体)</p> <p>アンケート (N=253)</p>

意識に与える効果		①親しみ・愛着、誇りの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動を始めてから、子供達の意識に変化が見られるようになった。ゴミが落ちていたら積極的に拾うようになり、「何でゴミが落ちてるんだろうね」といった会話をしている。以前は、JRの駅を自分たちのものと思っていなかった。駅や街に対して、愛着や誇りを感じている</li> <li>・杉に対して興味を持つようになった</li> <li>・駅舎が完成して1年経った感想。「愛着がわいてきた」(14%)</li> <li>・駅舎が完成して1年経った感想。「誇りに思う」(18%)</li> </ul>	ヒアリング (地元団体)  アンケート (N=253)
		②地域のシンボル・ランドマークとしての認知、地域らしさの認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎がシンボルになっている。まちが元気な証拠だと思う</li> <li>・清掃活動、イベントの企画・参加等を通して、駅は自分たちのまちの中心と思うようになった</li> <li>・「日向らしさ」を建物に表現できるよう、また、杉材を意識しながら設計するようになった。できるだけ杉材を使用してもらうために、工夫しながらプレゼンしている</li> </ul>	ヒアリング (地元団体)  ヒアリング (店舗設計者)
		③景観やまちづくり、環境等に関する意識の高まり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観や建築に対する意識が大きく変わった。以前は、施主の要望が第一で、アドバイスも自分の知識範囲内(建物の敷地内)のみであった。しかし、「街の中での建物」という視点で物事を考えるようになった。広い地図(日向市全体)を広げて議論したため、大きな視点から土地を見るようになった。建物の敷地外について(植栽など)についてもアドバイスするようになった</li> <li>・WSに参加してからは、「まちづくり」とは何か、と考えるようになった。WSでは、ソフト面を勉強できた</li> </ul>	ヒアリング (店舗設計者)
		④住民・行政・設計者・施工者の信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討体制(住民、行政、専門家の連携)に対する評価も高い。住民、行政、専門家の間には信頼感が生まれた</li> <li>・当初、住民は行政がここまでやるとは思っていなかった。今は、住民と行政がお互いに感謝の気持ちを持っている</li> <li>・住民が企画したイベント等を開催できたのも、日向市が多くのチャンネルを持っていたからであろう。イベントを企画した団体が主役になれる実施体制をとっている</li> <li>・市役所は担当が変わっても、住民に対する姿勢は変わらない。真剣に付き合ってくれる。また、部署や課は関係なく参加する</li> <li>・1番驚いたのは、先生方の取り組み姿勢であった。地域に入り込んでとことんやっていた。また、どんなものでも模型を作って、住民に説明をしていた。(誰にでも分かる形で説明をする)この姿勢や手法は見習うべきであると考えている</li> </ul>	ヒアリング (地元団体)  ヒアリング (宮崎県)
活動に与える効果	住民の日常生活での利用に与える効果	①利用の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延岡から親子連れが遠足に来るようになった(お弁当持参のピクニック)</li> <li>・鉄道利用者は前年度比2%増</li> <li>・「駅周辺の人出が多くなった」(24%)</li> <li>・「駅周辺へ出向く回数が多くなった」(26%)</li> <li>・「お客さんは満足してくれている」(13%)</li> <li>・「商売がしやすくなった」(9%)</li> <li>・「商売への効果があった」(7%)</li> <li>・「客数が増えた」(6%)</li> </ul>	ヒアリング (地元団体)  ヒアリング (日向市)  アンケート (N=253)
		②利用の多様化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元小中学生の「まちづくり課外授業」の対象として採用</li> </ul>	文献
		①イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕やハロウィンなどのイベントが、まちの中で行われるようになった(ソフト事業の活性化)</li> <li>・「イベントの開催について、良いと思う」(76%)</li> <li>・「イベントへの参加について、参加したい」(70%)</li> </ul>	ヒアリング (地元団体)  アンケート (N=253)
	団体活動・維持管理活動に与える効果	②維持管理活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元活動団体に清掃を行っている</li> </ul>	ヒアリング (地元活動団体代表者)
		③地域団体の活動の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元木材組合の若手グループ「木の芽会」の、積極的なまちづくり参加</li> </ul>	文献

景観整備による波及効果		調査結果	調査手法
周辺の空間に与える効果	隣接する空間整備に与える効果	①建物の形態、ファサード、意匠等の変化 ・ファサードの一部に木材を使用（商業施設） 	定点観測
		②建築外構の変化 ・「建物を改修し、駅周辺のデザインを意識した」（9%） ・「建物を改修する予定、駅周辺のデザインを意識したい」（5%） 駅周辺デザインを意識 	アンケート (N=253)
	与える制度等の構築に寄与する	①景観条例、景観計画等の策定 ・「匠の街」（建築物に関する整備方針）「日向市駅周辺地区地区計画」を策定	文献
	与える効果に地域経済に	①地場産業の活性化 ・「日向らしさ」を建物に表現できるよう、また、杉材を意識しながら設計するようになった。できるだけ杉材を使用してもらうために、工夫しながらプレゼンしている ・県の役所の人が、積極的に宮崎の杉情報を発信	ヒアリング（店舗設計者） ヒアリング（木材関係者）
	外部評価の高まり	①外部機関（専門家）からの表彰等 ・駅の視察は、公式のもので一年間約 60～70 団体であった ・視察は、全国から来ている。分野も、建築意匠、建築構造、都市計画、まちづくり等多岐に及ぶ。全国果物商業組合関係の人まで視察に来た（街が元気だから果物も売れているのでは、と言っていた）	ヒアリング（日向市） ヒアリング（店舗経営者）

②効果の波及フロー図



③プロット図

「匠の街」(建築物に関する整備方針)「日向市駅周辺地区地区計画」を策定

七つやハロウィンなどのイベントが、まちの中で行われるようになった(ソフト事業の活性化)

広場周辺の施設から、子どもたちが電車に向かって手を振っている

地元活動団体が清掃を行っている

表 駅前広場及び駅周辺で開催されたイベント内容と集客数

開催日	イベント名	内容	集客数	対象者	備考
15 6~7	土曜夜市	和太鼓演奏(天地鼓響)	約400人	市民	8回×約200人
15 7 11	中里村交流イベント	郷土産品展示・和太鼓演奏・和太鼓の体験	約500人	市民	
15 9 13~14	日向十五夜祭り・フリーマーケット	メイン会場・各種演芸披露	約2,500人	市民	
H15年集計			約3,400人		
16 1 1	商店街福祿寿まつり	餅つき	約250人	市民	
16 6~7	土曜夜市	和太鼓演奏(天地鼓響)	約500人	市民	8回×約250人
16 9 18~19	日向十五夜祭り	メイン会場(特設ステージ)	約3,000人	市民	
16 10 30	街なかハロウィン	ハロウィン	約100人	市民	
16 11 13	土木の日フェスティバル	土木関係資料展示・フリーマーケット	約2,000人	市民	
16 11 13	杉コレクション	杉材活用の作品の展示・審査	約300人	市民	
16 12 24	クリスマスイベント	クリスマスイベント	約200人	子供	市内 4教会
H16年集計			約6,350人		
17 1 22	スペシャルオリンピック	身障者トータルリレー	約250人	市民	
17 2 6	カー・ショー・お祝い式典	歌ちゃん球団歓迎式典	約3,000人	市民	
17 6~7	土曜夜市	和太鼓演奏(天地鼓響)	約1,200人	市民	8回×約200人
17 6 25	七夕祭り	市立3保育所主催の七夕イベント	約1,000人	市民	
17 8 6	日向ひよっこ夏祭り	ひよっこ夏祭り踊りステージ	約3,000人	市民	
17 9 17~18	日向十五夜祭り	メイン会場(特設ステージ)	約3,000人	市民	
17 10 29	街なかハロウィン	ハロウィン	約200人	市民	
17 11 11~13	周年事業イベント	10.813街区周年記念	約600人	市民	
17 12 17	ブライダルフェア2017:日向	ブライダルフェア	約300人	市民	
H17年集計			約12,550人		
18 2 16	山口県ふたツツの館 式典	山口県二輪管球団新設式典	約1,500人	市民	
18 6~7	土曜夜市	和太鼓演奏(天地鼓響)	約1,500人	市民	8回×約250人
18 7 1	七夕祭り	市立3保育所主催の七夕イベント	約1,100人	市民	
18 9 9~10	日向十五夜祭り	メイン会場(特設ステージ)	約4,000人	市民	
18 8 5	日向ひよっこ夏祭り	ひよっこ夏祭り踊りステージ	約3,000人	市民	
18 10 28	街なかハロウィン	ハロウィン	約1,000人	市民	
18 12 17	新駅開業イベント	新駅開業を祝う市民イベント	約15,000人	市民	
H18年集計			約27,100人		
19 2 24	旧駅舎お別れイベント	旧日向市駅舎に伴うイベント	約2,000人	市民	
19 4 14	五名高校バスバンド	バスバンド演奏	約500人	市民	
19 5 6	ジャズコンサート	メジャーデビュー前コンサート	約200人	市民	
19 6 30	七夕祭り	市内2保育所・NPO等イベント	約1,500人	市民	
19 8~7	土曜夜市	和太鼓演奏(天地鼓響)	約1,500人	市民	8回×約250人
19 9 22,23	日向十五夜祭り		約1,000人	市民	
19 10 27	街なかハロウィン	ハロウィン	約3,000人	市民	
19 12 16	ひよっこいちね 開業一周年		約8,000人	市民	
H19年集計			約17,700人		
20 3 9	西口駅前広場完成式典	完成式典、郷土芸能披露	約5,000人	市民	
20 4 19	五名高校バスバンド	バスバンド演奏	約500人	市民	

駅のプラットフォームから、景色を眺める人

ファサードに木材を用いている建物

## X II 門司港レトロ地区環境整備（福岡県北九州市、港湾）

### X II - 1. 事業条件の整理

【事業名】	門司港レトロ地区環境整備	【事業分野】	港湾
【事業対象・規模】	対象：北九州港門司港区第一船だまり（福岡県北九州市） 規模：約 8.3ha		
【事業主体】	北九州市	【周辺関連事業】	西海岸整備、北九州市都市景観条例、関門景観条例
【景観検討の段階】	構想・計画・設計・施工・維持管理		
【事業期間・施工】	平成元年より事業開始 平成5年：歩行者専用橋（ブルーウィングもじ）、橋詰公園完成 平成6年：港湾緑地の休憩場所として旧門司税関の保存修復完了、門司港駅舎前の「レトロ広場」竣工、国際友好記念図書館の前庭広場「文化広場」竣工、旧門司三井倶楽部移設に伴う外構の再生 平成7年：再開発建物の外構と連携船溜り側ボードウォーク着工 平成8年：再開発ビル着工		

#### 【事業概要】

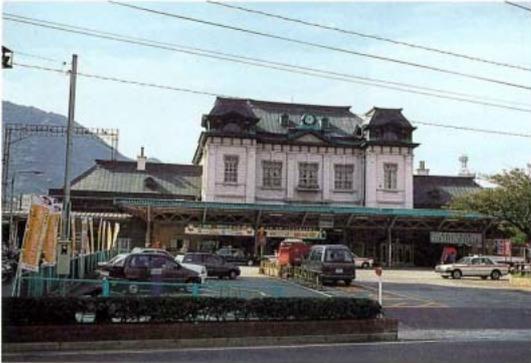
九州北端の門司港は、かつては大陸との貿易、関門連絡船のターミナルとして、我が国有数の商業港であった。しかし、戦後、大陸貿易の途絶、連絡船の廃止等で、町は急激に衰退していった。そこで、北九州市は 1989(平成元)年より門司港再生を目指し「ふるさと創生事業」「歴史的港湾環境創造事業」等による、環境整備に着手。これまでに歴史的建造物の修復、広場・街路・緑地等の整備等の公共空間の整備事業を行った。「門司港レトロ」はこれらの事業の総称である。「門司港レトロ」は比較的広い区域を対象地域としながら、既に 10 数年に及ぶ時間をかけ、設計者・行政関係者・地元市民が緊張ある関係の中で進められた。



図 事例対象位置図

【整備前後の写真】

整備前



門司港駅

整備後



門司港駅



門司港駅前



門司港駅前



門司港第1船だまり



門司港第1船だまり



国際友好記念図書館横から旧門司税関を望む



国際友好記念図書館横から旧門司税関を望む

【整備前後の写真】

整備前

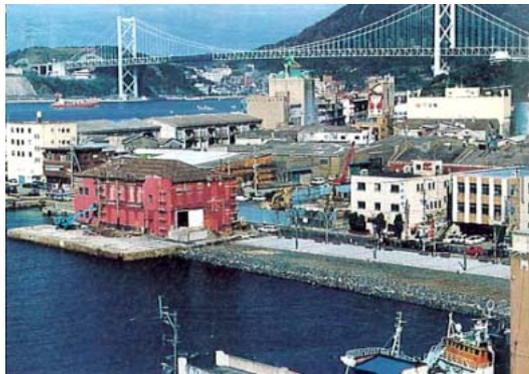


船だまり側の旧門司税関

整備後



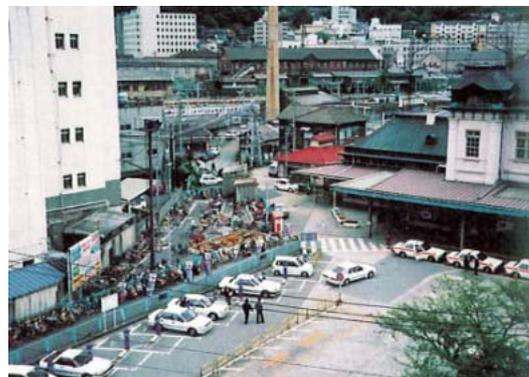
船だまり側の旧門司税関



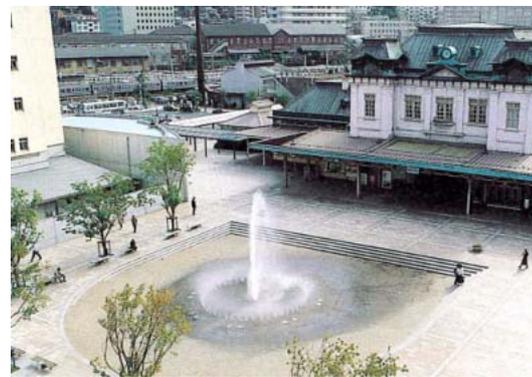
親水護岸周辺



親水護岸周辺



門司港駅前「レトロ広場」



門司港駅前「レトロ広場」

出典：北九州市、財団法人北九州都市協会、「海峡の街 門司港レトロ物語」、平成8年3月

X II - 2 調査対象とする景観向上効果

計画・設計の意図	景観に配慮した内容	想定された効果
1 歴史的資源・景観資源等の既存資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史的な施設の保存再生・復元</li> <li>○関門海峡等の自然景観、歴史的建築物やその前面水域の景観の取り込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用形態・頻度等の変化</li> <li>●観光地としての価値の向上、商業活動の変化</li> <li>●樹木の手入れ、花壇等の設置</li> <li>●清掃等の維持管理活動の活発化</li> <li>●周辺景観の改善、建物ファサードの変化、軒先空間の変化、周辺商業施設の連帯性の向上</li> <li>●地域住民の地区景観に対する意識向上</li> </ul>
2 親水空間・水際の賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○船だまりの存続、緑地の整備</li> <li>○船だまり側におけるシンプルな铸铁柵や、親水広場のスリットを設けた護岸擁壁の設置</li> <li>○親水公園における潮位差を活用した景観演出</li> <li>○広場・緑地におけるレベル差の形成、水際のシークエンス景観の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用形態・頻度等の変化、地域活動(イベント・行事)の活性化、近隣住民同士の会話の場の創出</li> <li>●親水性の向上</li> <li>●水面の活用による民間開発の促進、商業活動の活性化・変化</li> <li>●視点場の形成</li> <li>●非日常を感じられる空間としての利用</li> </ul>
3 快適な歩行空間の創出・回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海や街への視線・アクセスの確保</li> <li>○船だまりの出入り口にはね橋を設置</li> <li>○歩行者プロムナードを整備、一体感のある道路空間の整備、メリハリのある空間デザインの演出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用形態・頻度等の変化</li> <li>●観光地としての価値の向上、商業活動の活性化・変化</li> <li>●視点場の形成</li> </ul>
4 市民参画等のソフトとの連動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○門司港駅前の多目的広場の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用形態・頻度等の変化、商業活動の活性化・変化</li> <li>●地域活動(イベント・行事)の活性化、清掃等の維持管理活動の活発化</li> </ul>

X II - 3 調査手法と対象および調査範囲

調査手法		対象	調査範囲等
アンケート調査	整備対象位置周辺の地元住民	門司港レトロ地区から 500m範囲に含まれる町字の配布可能な 2,900 世帯 ※回収結果： 702/2,900 通 (回収率 24%)	<p>現地観測地点</p> <p>対象事例の範囲</p> <p>門司第1船渠</p> <p>門司港駅</p> <p>徒船通り</p> <p>アンケート配布範囲： 門司港レトロの半径 1k m圏内、門司港レトロ地区を日常的に利用可能な地区の世帯</p> <p>■ 調査対象範囲</p>
	整備対象の位置する市町村の地域住民	既存市政モニターアンケート調査（平成 18 年度「門司港レトロについて」参考 大久保裕文、景観整備地区でのまちづくり活動に関する研究 -北九州市門司港のレトロ地区の場合-、1999 年度第 34 回日本都市計画学会学術研究論文集 pp541～546	
ヒアリング調査	事業主体（行政）関係者	①北九州市産業経済局門司港レトロ室 ②北九州市建築都市局建築審査課 ③北九州市建築都市局計画部都市計画課	
	利用団体	①門司港レトロ倶楽部 ②門司まちづくり 21 世紀の会	
現地観測調査		平日、休日	

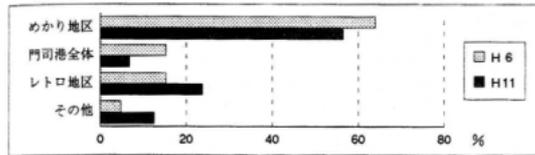
XII-4 事後評価結果  
 ①確認された景観向上効果

景観整備による効果	調査結果	調査手法
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">整備された空間に対する認知・印象</p>	<p>①整備した空間の機能向上に対する認知</p> <p>・「門司港レトロ」の施設整備の段階別の評価は、整備前を0点として評価してもらった結果、公共事業実施後の第3段階に顕著の高くなり、その後も高まっている。</p> <p>門司港レトロの部分オープン時期 平成4(1992)年4月～平成7(1995)年3月</p> <p>門司港レトロのグランドオープン時期 平成7(1995)年4月～平成12(2000)年4月</p> <p>民間事業及び周辺整備時期 平成12(2000)年5月～</p>	<p>アンケート (N=702)</p>
	<p>・開放感がある (89%)</p> <p>・歩きやすさ (92%)</p> <p>・背後の山並みの眺めのよさ (55%)</p> <p>・関門海峡の眺めのよさ (95%)</p> <p>開放感がある (89%)</p> <p>歩きやすさ (92%)</p> <p>背後の山並みの眺めのよさ (55%)</p> <p>関門海峡の眺めのよさ (95%)</p>	

②整備した空間の印象の向上

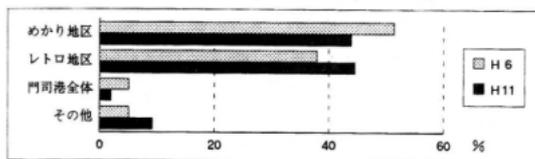
◇門司港で美しいと思われる場所としての評価

・自然環境に恵まれた関門海峡やめかりの国立公園から人工的なレトロ地区への移行がみられる。



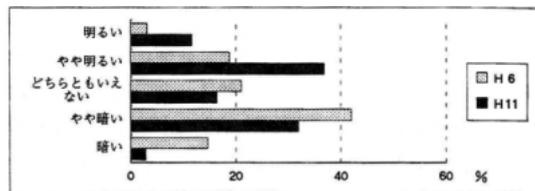
◇観光客に見てもらいたい場所としての評価

・めかり地区は、北九州市域でも有数の修景観光地であるが平成11年は、これを押さえレトロ地区がわずかであるが、逆転した。



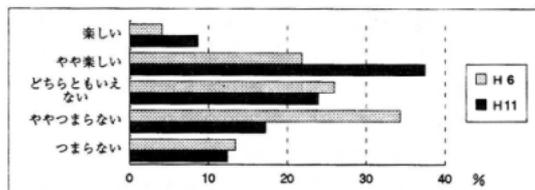
◇まちの明るさに対するイメージ

・平成11年は6年に比べ、明るい、やや明るいとする意見がほぼ倍の比率で多くなり、暗いとする意見は極めて少なくなっている。



◇まちの楽しさに対するイメージ

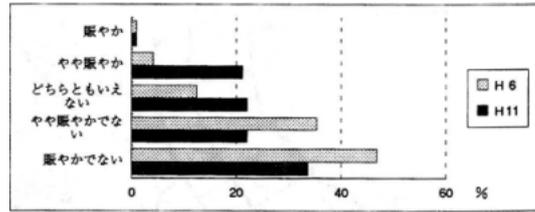
・平成11年では楽しいが増え、またやや楽しいとする意見がかなり増えている。ややつまらないとする意見は、6年に比べ半減している。



文献調査  
(大久保裕文、景観整備地区でのまちづくり活動に関する研究—北九州市門司港のレトロ地区の場合—)

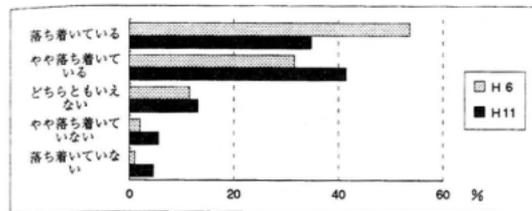
◇まちの賑やかさに対するイメージ

- ・平成 11 年ではやや賑やかとする意見が急増し、やや賑やかでない、賑やかでないとする意見は減少している。

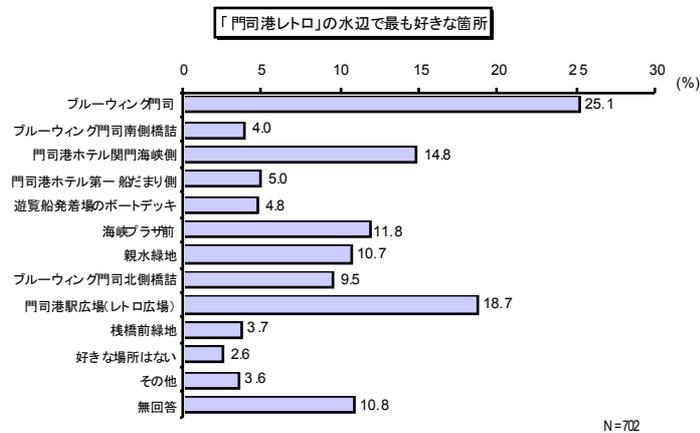


◇まちの落ち着きに対するイメージ

- ・平成 11 年では落ち着いているとする意見は 6 年に比べ少なくなっている。賑やかさの裏腹の意見に符号する。



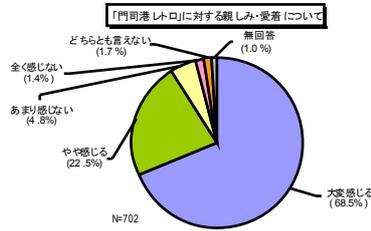
- ・「門司港レトロ」の水辺で最も好きな箇所



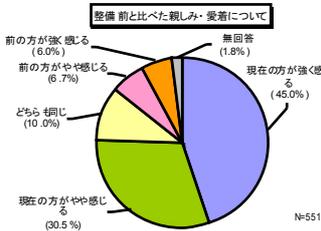
意識に与える効果

① 親しみ・愛着、誇りの向上

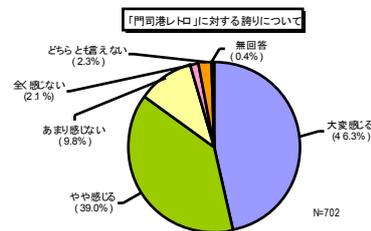
・現在、整備により親しみ・愛着等を持つようになった。(91%)



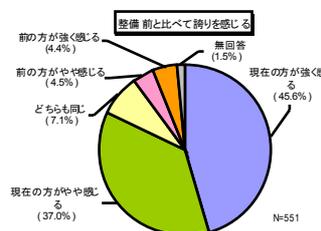
・整備前と比べた親しみ・愛着について (76%)



・現在、整備により誇り等を持つようになった (85%)



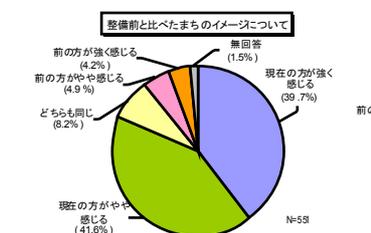
・整備前と比べて誇りを感じる (83%)



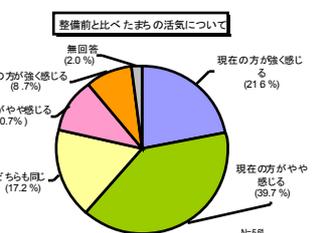
アンケート (N=702)

② 地域のシンボル・ランドマークとしての認知、地域らしさの認知

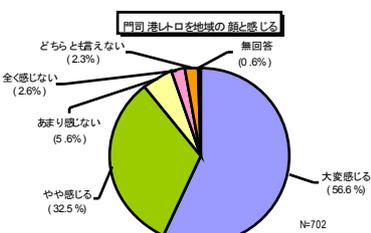
・整備前と比べたまちのイメージについて (81%)



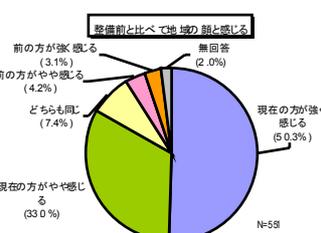
・整備前と比べたまちの活気について (61%)



・現在、「門司港レトロ」を地域の顔と感じる (89%)



・整備前と比べて地域の顔と感じる (83%)



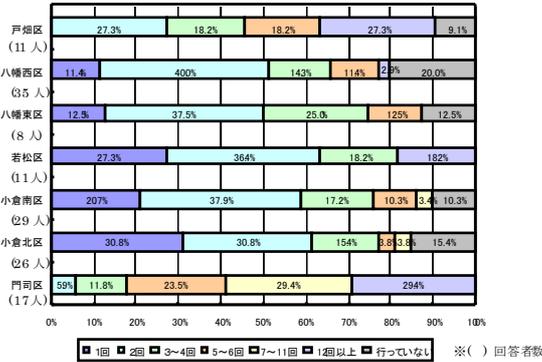
アンケート (N=702)

①利用の増加

(※新規整備のため、前後比較不可。整備以前はほとんど利用されない場所であったため、単純に利用の増加、多様化というには注意が必要である。)

◇利用頻度

・利用頻度は、門司区の市民は年間5回以上が8割、そのほかの区の市民は、2~5割であり、地元の市民の利用頻度が高い。



◇利用形態

- ・通勤・通学、散歩、犬の散歩の利用
- ・スケッチの作成や写真撮影等の視点場としての利用
- ・知人等の来訪時の案内する場所としての利用
- ・水辺を眺めながらゆっくりするなどの利用
- ・自分の書いた門司港の絵をベンチに並べ紹介する

◇門司港レトロの利用内容

- ・「散歩や犬の散歩によい」、「通勤や通学時に利用する」、「買い物・食事の場として利用する」
- ・「スケッチする、写真を撮る、自作のスケッチを紹介する、小学生の写生教室等」

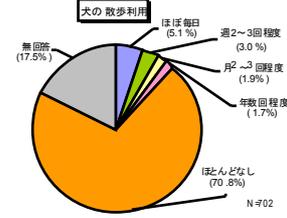
文献調査  
(市政モニターアンケート調査結果)

①利用形態・頻度等の変化

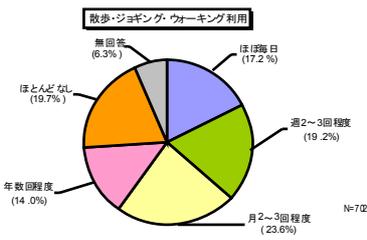
・通学の通り道に利用



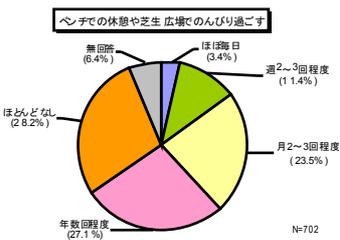
・犬の散歩に利用



・散歩・ジョギング・ウォーキングに利用

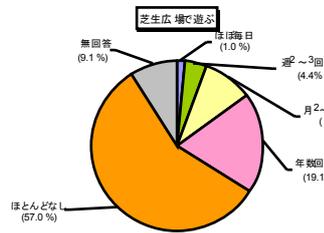


・ベンチでの休憩や芝生広場でのんびり過ごす

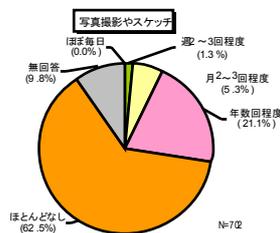


◇門司港レトロの利用内容

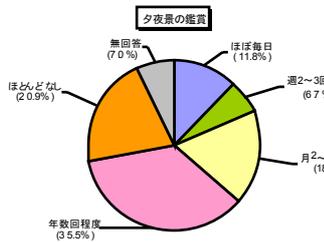
・芝生広場で遊ぶ



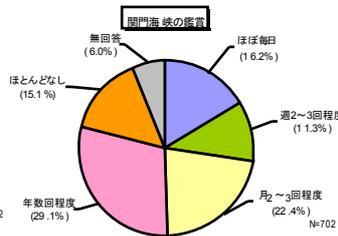
・写真撮影やスケッチ



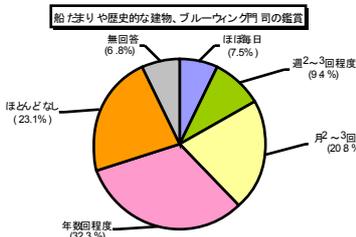
・夕夜景の鑑賞



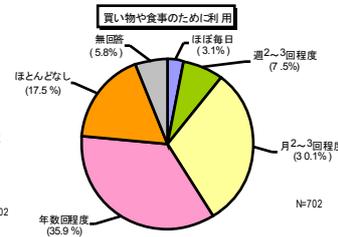
・関門海峡の鑑賞



・船だまりや歴史的な建物、ブルーウィング門司の鑑賞



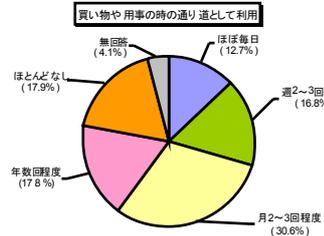
◇門司港レトロの利用内容  
・買い物や食事のために利用



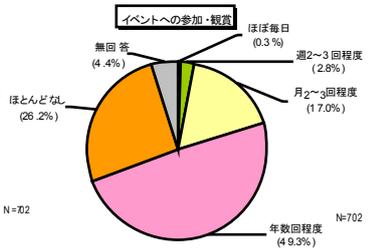
アンケート  
(N=702)

・買い物や用事の時の通り道

として利用



・イベントへの参加・観賞



① イベントの開催

- ・レトロフェスタ、フグ祭り、花火大会、コンサート、ビアガーデン、フルーマーケット等、各種イベントを通年的に開催
- ・門司港レトロ倶楽部によるイベントの頻繁な開催

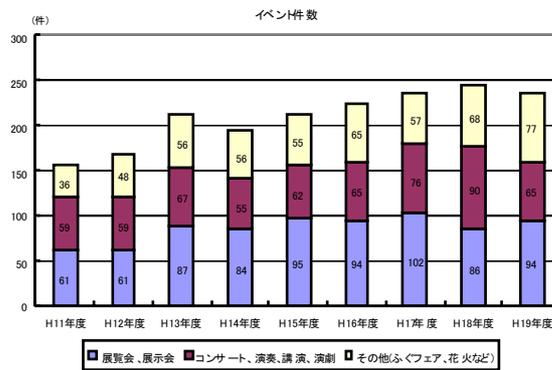


レトロフェスタ



ふぐと灯りとひなまつり

- ・近年においてもイベント数は増加傾向にある。



資料：北九州市産業経済局門司港レトロ室資料

- ・写生教室による利用

ヒアリング\* (北九州市等)

② 維持管理活動の実施

- ・市民団体による清掃活動の活発化

ヒアリング\* (北九州市等)

③ 地域団体の活動の発展

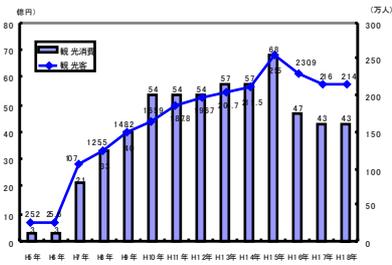
- ◇ イベント運営等のための組織の設立
- ・ 門司港レトロ地区の観光振興と地域の活性化を地元・民間・行政が連携し、一体となって推進することを目的に設立された組織。

- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p>行政(市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済文化局</li> <li>・ 港湾空港局</li> <li>・ 教育委員会</li> <li>・ 門司区役所</li> </ul> | <p>民間(11団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (社)北九州市観光協会</li> <li>・ JR九州門司港駅</li> <li>・ 北九州商工会議所</li> <li>・ (財)北九州活性化協議会</li> <li>・ (財)西日本産業貿易コンベンション協会</li> <li>・ NTT 西日本北九州支店</li> <li>・ 門司港開発株式会社</li> <li>・ 門司港郵便局</li> <li>・ 出光美術館(門司)</li> <li>・ 門司港レトロ活性化共同企業体</li> <li>・ 門司地区タクシー協会</li> </ul> | <p>地元(8団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 門司まちづくり 21世紀の会</li> <li>・ 門司みなと商店街振興組合</li> <li>・ 門司の躍進を考える会</li> <li>・ 門司港バナナの叩き売り保存会</li> <li>・ まちづくり活性化もじ</li> <li>・ 門司の景観を考える女性の会</li> <li>・ 門司みなとまち倶楽部</li> <li>・ 門司文化団体連合会</li> </ul> |
|---|--|---|

- ・ 地域情報誌(レトロタイムズ)の発行

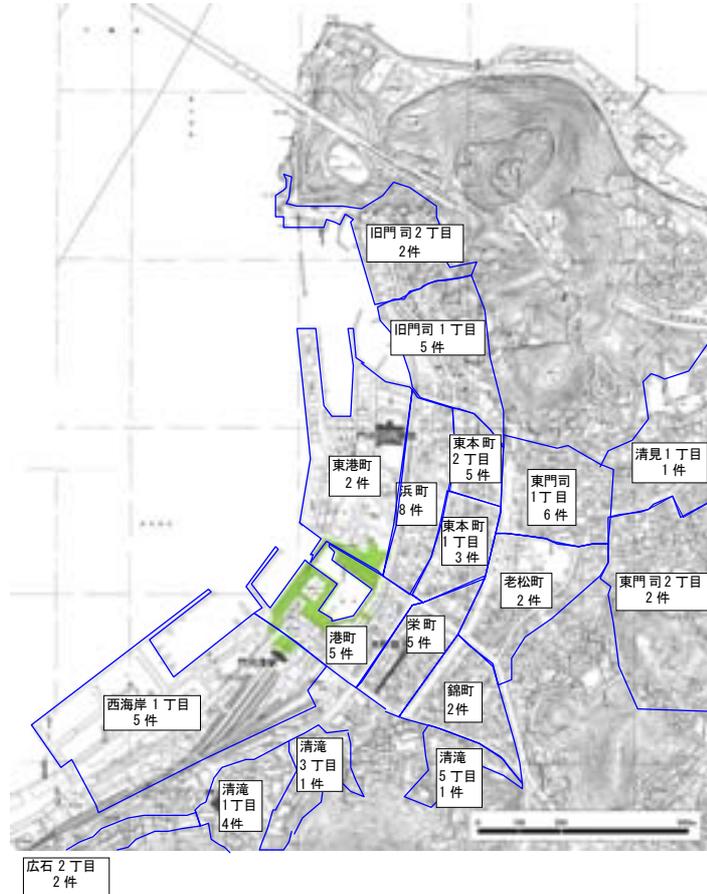


ヒアリング\* (北九州市等)

景観整備による波及効果		調査結果	
隣接する空間整備に与える効果  周辺の空間に与える効果  周辺の空間整備に与える効果  景観形成に寄与する制度等の構築	① 建物の形態、ファサード、意匠等の変化	◇水辺を意識した建築物等の設計 ・街中の街路から海への視線やアクセスを確保するための建物の配置・設計 ・水辺らしい建物の配置、設計 	ヒアリング* (北九州市等)
	① 周辺施設整備との連携	◇ホテルの整備 ・水辺の魅力や景観を生かしたホテルの立地 ◇商業施設の整備 ・水辺の魅力や景観を生かした来訪者を狙った商業施設の立地 ◇文化的な地域イメージを活用した美術館の立地 	ヒアリング* (北九州市等)
	② 視点場の形成	◇跳ね橋等の新たな視対象の創出と既存資源の活用による視点場の形成 ・周辺で関門海峡や跳ね橋をバックに写真を撮影する人やスケッチを描く人が多い ・跳ね橋が上がると、ぼーと見ている人が多い ・修復、保全された建築物や水辺に立つ建築物等を見る人 	定点観測
	① 景観条例、景観計画等の策定	・景観条例の「都市景観整備地区」に指定 (H8. 5. 1) ・関門景観条例を両市で制定 (H13. 10. 3)	ヒアリング* (北九州市)
地域経済に与える効果	② 観光振興	・観光客の増加、観光消費額の増加 ・観光地としての地位の確立、知名度のアップ  <p>資料：北九州市産業経済局門司港レトロ室資料</p>	ヒアリング* (北九州市)
	③ 民間投資の誘発	・周辺地区でのマンションの立地 ・Uターン、新住民の増加	ヒアリング* (北九州市)

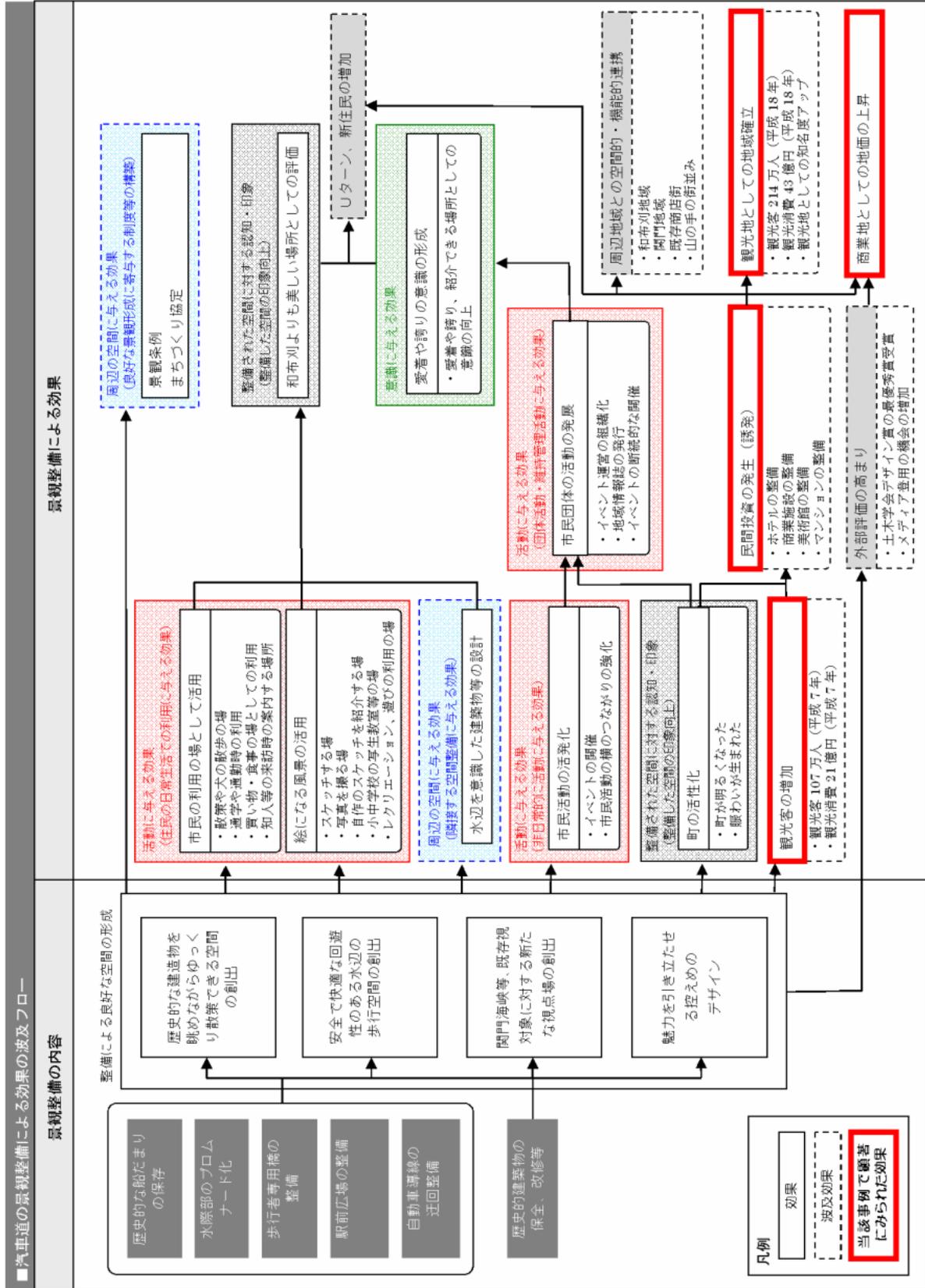


・周辺に景観を売り物した中・高層マンションが立地



資料：北九州市産業経済局門司港レトロ室資料

②効果の波及フロー図



③プロット図

散歩や休息の場



自作のスケッチを紹介する場



スケッチする場  
写真を撮る場



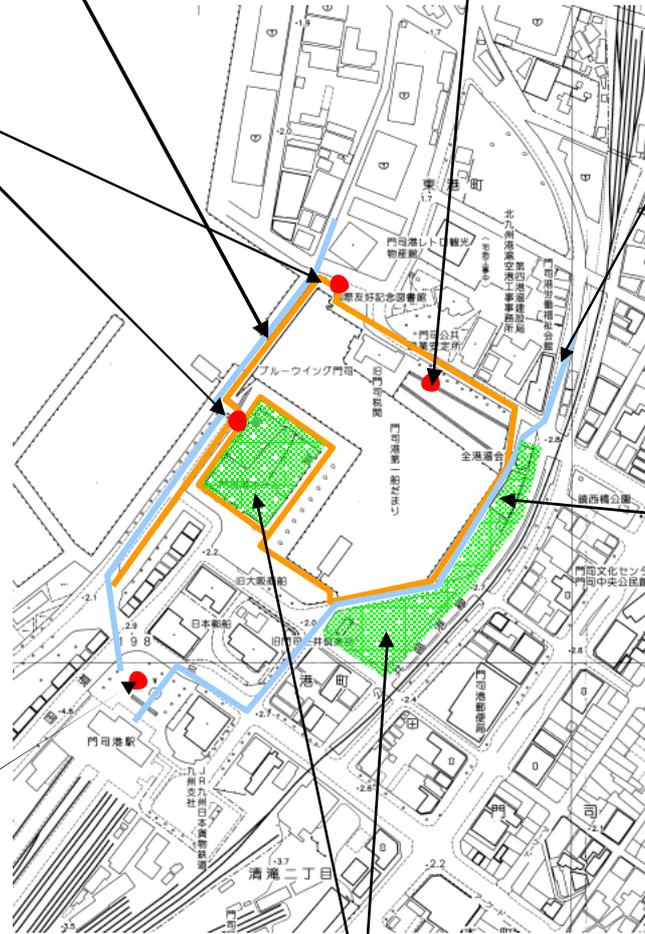
通学や通勤時の利用



買物や食事の場としての利用



イベントの開催



水辺を意識した建築物等の設計



### X III 汽 車 道 ( 神 奈 川 県 横 浜 市 、 港 湾 )

#### X III - 1 事 業 条 件 の 整 理

【事業名】	汽 車 道	【事業分野】	港 湾
【事業対象・規模】	対象：遊歩道、トラス橋 3 橋、自然石護岸、芝生広場 規模：L=500m、W=約 10m		
【事業主体】	横 浜 市	【周辺関連事業】	(構想・制度) ・みなとみらい中央地区、新港地区の面的整備
【景観検討の段階】	構想・計画・設計・施工・維持管理		
【事業期間・施工】	平成 9 年 (1997) 供用開始		
【事業概要】	<p>汽 車 道 は、も と も と 桜 木 町 の 駅 か ら、新 港 地 区 を 結 ぶ 新 た な ル ー ト と し て、貨 物 線 に 利 用 さ れ て い た 軌 道 ル ー ト を 活 用 し 遊 歩 道 に 再 整 備 し た 施 設 で あ る。新 港 地 区 は 昭 和 63 (1988) 年 に 再 開 発 に 着 手 し、こ れ に あ た っ て は、土 地 利 用 計 画、施 設 計 画、街 並 み 景 観 ガ イ ド ラ イ ン 等、既 に み な と み ら い 21 新 港 地 区 全 体 と し て 整 備 の 方 針 が 定 め ら れ た。</p> <p>汽 車 道 は、そ の う ち の 一 施 設 と し て 位 置 づ け ら れ、新 港 ふ 頭 へ の 貨 物 輸 送 を 目 的 に 敷 設 さ れ た 臨 港 鉄 道 跡 地 を、延 長 500m の プ ロ ム ナ ー ド と し て 整 備 し た。敷 設 当 時 の ア メ リ カ 製 の ト ラ ス 橋 を 改 修 し た 上 で 保 存 活 用 し た ほ か、線 路 を ボ ー ド ウ ォ ーク 内 に 残 し、貨 物 輸 送 で 活 躍 し て い た 当 時 の 雰 囲 気 と、水 辺 と 一 体 と な っ た 景 観 を 創 出 し て い る。ま た、汽 車 道 の 名 称 は 公 募 に よ り 決 定 し、平 成 9 年 度 に オ ー プ ン し て 以 来、新 港 地 区 へ の 歩 行 者 の 主 動 線 と し て 利 用 さ れ、海 に 困 ま れ た プ ロ ム ナ ー ド と し て 独 特 な 景 観 を 生 み 出 し て い る。新 港 地 区 を 含 む 「み な と み ら い 21 地 区」の 歩 行 者 ネ ッ ト ワ ー ク の 考 え 方 は、横 浜 市 の 総 合 計 画 で あ る 「ゆ め は ま 2010 プ ラ ン」中 で 「み な と ま ち 快 遊 プ ラ ン」と し て 位 置 づ け ら れ た。こ の 中 で、水 際 ゾ ー ン に 新 た な “ミ ナ ト ヨ コ ハ マ” ら し い 賑 わ い の 場 や 魅 力 あ る 回 遊 空 間 の 創 造 を 目 指 し て い る。</p> <p>汽 車 道 が 供 用 を 開 始 し た 1997 年 の 時 点 で は、み な と み ら い 21 の 中 央 地 区 は、ラ ン ド マ ー ク タ ワ ー と 横 浜 マ リ タ イ ム ミ ュ ー ジ ャ ム、パ シ フ ィ コ 横 浜 以 外 は、ま だ、建 設 中 で あ り、新 港 地 区 に お い て は、ほ ぼ 未 整 備 の 状 態 で あ っ た。</p> <p>汽 車 道 の 供 用 と ほ ぼ 同 時 に ク イ ーン ズ ス ク エ ア 横 浜 が オ ー プ ン し、現 在 と ほ ぼ 同 様 の ビ ル 群 の ス カ イ ラ イ ン が 形 成 さ れ て い る。そ の 後、新 港 地 区 の 運 河 パ ー ク、横 浜 ワ ー ル ド ポ ー タ ー ズ、横 浜 コ ス モ ワ ー ル ド が 相 次 い で 完 成 し、2002 年 に は 新 港 地 区 の シ ン ボ ル と な る 赤 レ ン ガ 倉 庫、赤 レ ン ガ パ ー ク が 完 成 し、ほ ぼ 現 在 の か た ち に 整 備 さ れ た。つ ま り、汽 車 道 の 整 備 前 後 か ら 現 在 に 至 る ま で、周 辺 状 況 は 建 築 の み な ら ず、プ ロ ム ナ ー ド 等 の 整 備 が 進 み、地 区 全 体 の 中 で の 汽 車 道 の 位 置 づ け が 変 化 す る と と も に、利 用 者 の 利 用 方 法 に も 影 響 を あ た へ て き た こ と が 考 え ら れ る。</p>		

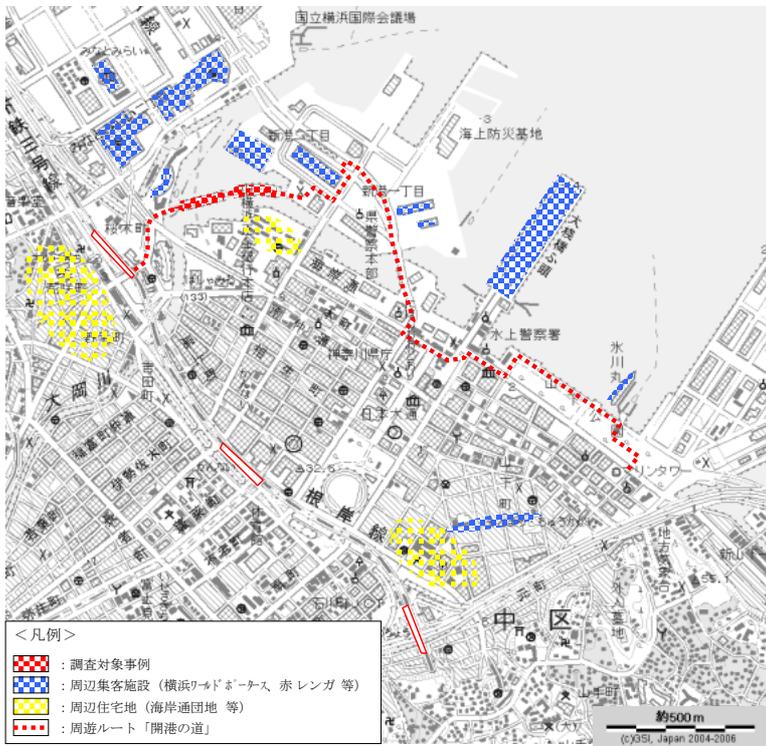


図 事例対象位置図

【整備前後の写真】

整備前（1995年）



整備後



出典：「みなとみらい21 新港地区ウィナープロムナード・運河パーク基本設計」平成7年3月、横浜市港湾局

X III-2 調査対象とする景観向上効果

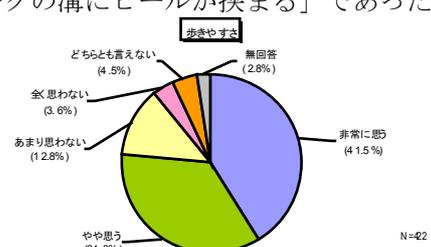
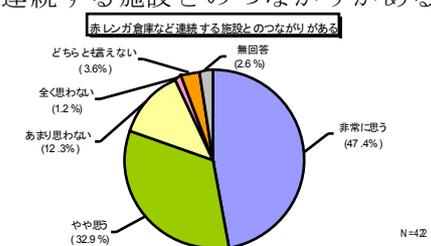
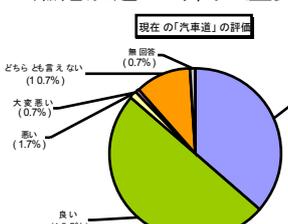
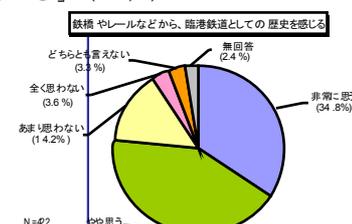
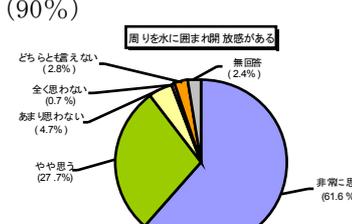
計画・設計の意図		景観に配慮した内容	想定された効果
<b>A. 通過だけでなく滞留機能を有するプロムナード空間の形成</b>			
1	滞留空間としての芝生広場の整備	○芝生広場は滞留可能な園地機能を有する場所としてデザイン ○景観ポイントへのベンチ等の休憩施設の設置	●横浜の新たな水辺空間としての創出と利用  ●通過空間としてだけでなく滞留空間としての利用
2	歩行者空間としての幅員を最大限確保	○歩道幅員確保のため、防護柵や照明等は植栽と一体となるよう外側に配置	
3	「季節感や四季」を感じられる植栽デザイン	○季節感の得られるエンジュ、オオシマザクラなどをベンチ周辺や芝生広場等の景観ポイントを中心にデザイン	
4	四方の水面を活かした散歩道づくり	○芝生広場の北側にメイン動線とは別に水際の遊歩道を整備 ○芝生広場は北側水際方向に緩やかに傾斜をつけて親水性を高める	
<b>B. 歴史遺産の保存・活用</b>			
1	歴史的遺構の活用	○石積み緩傾斜護岸（明治43年）や、3本のトラス橋の活用	●歴史が感じられる空間の創出
2	道の意義や地区の成り立ちを伝える仕掛けづくり	○軌道を残し、軌道部分の舗装は枕木をイメージしてウッドデッキを採用 ○トラス橋を美しく眺められる鑑賞範囲を設定し、視界を阻害する照明ポール等の人工施設の設置を避ける	
<b>C. 周辺地区との対比及び一体化</b>			
1	新港地区（赤レンガパーク）との一体感や連続性	○防護柵は赤レンガパークと同仕様のもを使用 ○ウッドデッキ以外の部分は石で舗装 ○ナビオス横浜には赤レンガ倉庫を見通す通景空間を設ける（公開空地）	●みなとみらい21中央地区への視点場として及び視対象としての整備と利用
2	周遊ルートの一部としての位置づけ	○桜木町から港の見える丘公園までをルートとして設定（開港の道）	
3	みなとみらい地区とのコントラスト	○自動車道を含む新港地区は、中央地区に対し、色彩や照明に関して暗めに設定	●新港地区へのルートのひとつとしての整備と利用
4	水辺を介して得られる眺めに配慮した施設デザイン	○施設のエッジに照明を施し、領域を示すライトアップ ○周囲を眺めるために視界を阻害する照明等や安全柵の透過性を高める	

X III-3 調査手法と対象および調査範囲

調査手法		対象	調査範囲等
アンケート調査	整備対象位置周辺の地元住民	汽公道から1km以内（徒歩圏内）の配布可能な2,500世帯 ※回収結果：422/2,500通（回収率17%）	 <p>現地観測調査地点</p> <p>アンケート配布範囲：                      汽公道の半径1km圏内のうち、横浜市中区・西区2500世帯居住施設を中心に配布可能な施設を対象とする                      みなとみらい等のマンションはセキュリティの関係により対象外とした</p>
	整備対象の位置する市町村の地域住民	既存アンケート調査（「横浜市景観ビジョン」平成18年3月）参考	
ヒアリング調査	事業主体（行政）関係者	①横浜市環境創造局環境整備部（当時港湾局担当） ②横浜市都市整備局都市デザイン室 ③横浜市中区総務部区政推進課	
	利用団体	横浜シティガイド協会	
	対象建築物等所有者	(株)横浜インポートマート	
現地観測調査		平日、休日	

XIII-4 事後評価結果

①確認された景観向上効果

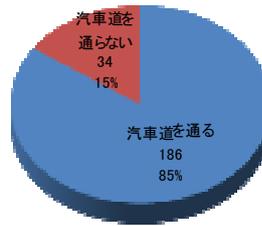
景観整備による効果	調査結果	調査手法																																									
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">整備された空間に対する認知・印象</p>	<p>①整備した空間の機能向上に対する認知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歩きやすい」(76%) →理由として、「車が通らない」が最も多い。一方で、「現在通行禁止になっている自転車通行を可能にしてほしい」という意見も見られた。 →一方で、「歩きにくい」との意見もあり、その理由の多くは、「ボードウォークの溝にヒールが挟まる」であった。</li> </ul>  <table border="1"> <caption>「歩きやすい」に関する調査結果 (N=42)</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>非常に思う</td><td>41.5%</td></tr> <tr><td>やや思う</td><td>34.8%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>2.8%</td></tr> <tr><td>どちらとも言えない</td><td>4.5%</td></tr> <tr><td>全く思わない</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>あまり思わない</td><td>12.8%</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤レンガ倉庫など連続する施設とのつながりがある」(80%)</li> </ul>  <table border="1"> <caption>「赤レンガ倉庫など連続する施設とのつながりがある」に関する調査結果 (N=42)</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>非常に思う</td><td>47.4%</td></tr> <tr><td>やや思う</td><td>32.9%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>2.6%</td></tr> <tr><td>どちらとも言えない</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>全く思わない</td><td>1.2%</td></tr> <tr><td>あまり思わない</td><td>12.3%</td></tr> </table> <p>【アンケートの自由回答、ヒアリングの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲を水域に囲まれるため、みなとみらい中央地区を眺める良好な視点場として評価。周囲の景観を見て癒されるとの回答もみられた。</li> <li>・横浜ワールドポーターズへ買い物や映画を見に行く時や赤レンガ倉庫に行く時に通るといふ人が多数みられた。理由は、眺めがいいこと、安全であることなどがあがっている。</li> </ul>	回答	割合	非常に思う	41.5%	やや思う	34.8%	無回答	2.8%	どちらとも言えない	4.5%	全く思わない	3.6%	あまり思わない	12.8%	回答	割合	非常に思う	47.4%	やや思う	32.9%	無回答	2.6%	どちらとも言えない	3.6%	全く思わない	1.2%	あまり思わない	12.3%	<p>アンケート 自由回答 (N=422) ヒアリング</p>													
	回答	割合																																									
非常に思う	41.5%																																										
やや思う	34.8%																																										
無回答	2.8%																																										
どちらとも言えない	4.5%																																										
全く思わない	3.6%																																										
あまり思わない	12.8%																																										
回答	割合																																										
非常に思う	47.4%																																										
やや思う	32.9%																																										
無回答	2.6%																																										
どちらとも言えない	3.6%																																										
全く思わない	1.2%																																										
あまり思わない	12.3%																																										
<p>②整備した空間の印象の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「汽船道の全体の評価：大変良い、良い」(87%)</li> <li>・「臨港鉄道の時代の歴史を感じる」(76%)</li> </ul>  <table border="1"> <caption>現在の「汽船道」の評価 (N=42)</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>大変良い</td><td>36.7%</td></tr> <tr><td>良い</td><td>49.5%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>どちらとも言えない</td><td>10.7%</td></tr> <tr><td>大差悪い</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>悪い</td><td>1.7%</td></tr> </table>  <table border="1"> <caption>「臨港鉄道の時代の歴史を感じる」に関する調査結果 (N=42)</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>非常に思う</td><td>34.8%</td></tr> <tr><td>やや思う</td><td>41.7%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>2.4%</td></tr> <tr><td>どちらとも言えない</td><td>3.3%</td></tr> <tr><td>全く思わない</td><td>3.6%</td></tr> <tr><td>あまり思わない</td><td>14.2%</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水に囲まれ開放感がある」(90%)</li> </ul>  <table border="1"> <caption>「水に囲まれ開放感がある」に関する調査結果 (N=42)</caption> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>非常に思う</td><td>61.6%</td></tr> <tr><td>やや思う</td><td>27.7%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>2.4%</td></tr> <tr><td>どちらとも言えない</td><td>2.8%</td></tr> <tr><td>全く思わない</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>あまり思わない</td><td>4.7%</td></tr> </table>	回答	割合	大変良い	36.7%	良い	49.5%	無回答	0.7%	どちらとも言えない	10.7%	大差悪い	0.7%	悪い	1.7%	回答	割合	非常に思う	34.8%	やや思う	41.7%	無回答	2.4%	どちらとも言えない	3.3%	全く思わない	3.6%	あまり思わない	14.2%	回答	割合	非常に思う	61.6%	やや思う	27.7%	無回答	2.4%	どちらとも言えない	2.8%	全く思わない	0.7%	あまり思わない	4.7%	<p>アンケート (N=422)</p>
回答	割合																																										
大変良い	36.7%																																										
良い	49.5%																																										
無回答	0.7%																																										
どちらとも言えない	10.7%																																										
大差悪い	0.7%																																										
悪い	1.7%																																										
回答	割合																																										
非常に思う	34.8%																																										
やや思う	41.7%																																										
無回答	2.4%																																										
どちらとも言えない	3.3%																																										
全く思わない	3.6%																																										
あまり思わない	14.2%																																										
回答	割合																																										
非常に思う	61.6%																																										
やや思う	27.7%																																										
無回答	2.4%																																										
どちらとも言えない	2.8%																																										
全く思わない	0.7%																																										
あまり思わない	4.7%																																										

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「周囲の眺めがいい」(90%)</li> <li>・「夜景の眺めがいい」(92%)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑地や緑があり自然を感じる」(78%)</li> <li>・「周囲の雰囲気と合っている」(86%)</li> </ul>					
<p>意識に与える効果</p>	<p>① 親しみ・愛着、誇りの向上</p>	<p>【アンケートの自由回答、理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなとみらい中央地区側に横浜の今を、新港地区側に昔の横浜をと、両方の横浜が味わえる</li> <li>・植栽や海の生物などの自然により季節を感じる</li> <li>・悪い評価：自動車設置後に周辺の商業施設が設置した電飾が派手で雰囲気を壊している</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみ、愛着を感じる：大変感じる、感じる (85%)</li> <li>・誇りに思う：大変感じる、感じる (78%)</li> </ul> <p>【アンケートの自由回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にとって誇れる大事な場所である。</li> <li>・観光客や友人などにお勧めしたい場所である。</li> <li>・横浜市の優れた都市デザインのひとつ。</li> </ul>	<p>アンケート (N=422)</p>				
	<p>② 地域のシンボル・ランドマークとしての認知、地域らしさの認知</p>	<p>◇ 景観に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車オープン後に最も得点が上昇（自動車整備前を 50 点と設定、本設問有効回答 169 サンプルの平均値を算出）。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>第一段階 自動車オープンの前</td> <td>第二段階 自動車オープン後</td> <td>第三段階 赤レンガ倉庫オープン後</td> <td>第四段階 開港の道オープン後</td> </tr> </table> <p>N=169</p>	第一段階 自動車オープンの前	第二段階 自動車オープン後	第三段階 赤レンガ倉庫オープン後	第四段階 開港の道オープン後	<p>アンケート (N=169)</p>
第一段階 自動車オープンの前	第二段階 自動車オープン後	第三段階 赤レンガ倉庫オープン後	第四段階 開港の道オープン後				

住民の日常生活での利用に与える効果  
活動に与える効果

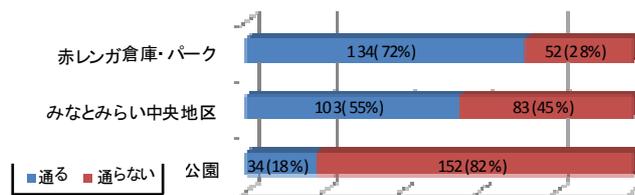
①利用の増加

◇散歩時の回遊性の向上  
→散歩をする人(220人)のうち、  
自動車道を通る人は186人(85%)



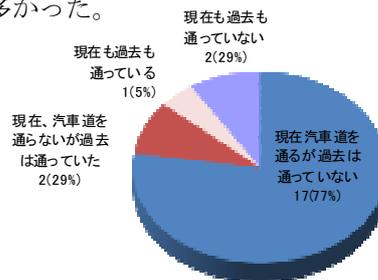
アンケート  
(N=220)

→散歩で自動車道を通るとした人(186人)のうち、コースの中で通る場所として、赤レンガ倉庫134人(72%)、みなとみらい中央地区103人(55%)、山下公園34人(18%)



アンケート  
(N=186)

→自動車道の整備前後で、散歩のコースの変化があった人(22人)のうち、「自動車道が整備される前は自動車道を通っていなかったが、整備後通るようになった」という人は17人(77%)と最も多かった。



アンケート  
(N=22)

②利用の多様化

◇利用形態の多様化  
→水域を行き交う船を眺める利用、芝生広場でのピクニック  
写真愛好家による撮影大会、スケッチや景色を眺める



(写真)行き交う船を眺める様子



(写真)ピクニックしている様子



(写真)写真愛好家による撮影大会



(写真)護岸に座ってスケッチする様子

現地観測

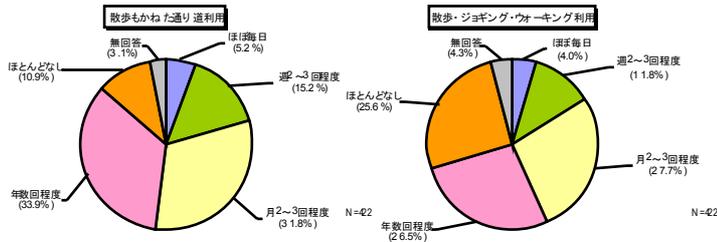
②利用の多様化

◆利用形態

(※新規整備のため、前後比較不可。利用の頻度について「ほとんどなし」以外の割合を集計)

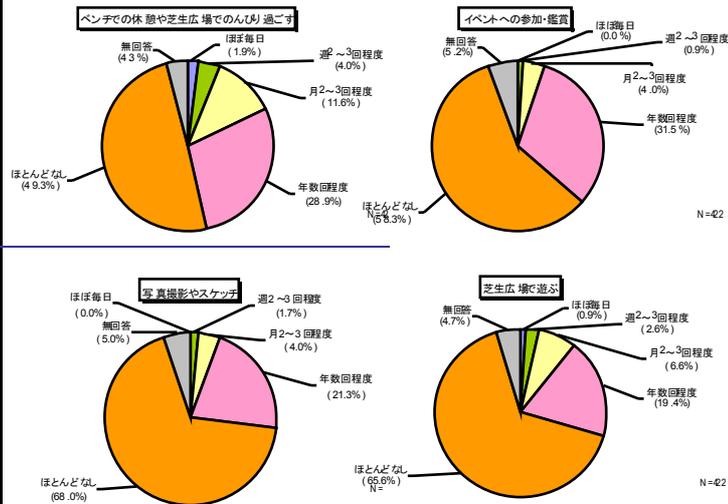
[半数以上の項目]

- ・「散歩道も兼ねた通り道として」(86%)
- ・「散歩、ジョギング、ウォーキング」(70%)
- ・「夕夜景の鑑賞」(68%)



[半数以下の項目]

- ・「ベンチや芝生広場での休憩」(46%)
- ・「イベントへの参加・鑑賞」(37%)
- ・「芝生広場で遊ぶ」(30%)
- ・「写真撮影やスケッチ」(27%)



アンケート (N=422)

【アンケート自由回答】

- ・春に芝生広場の桜の下で花見をする。
- ・横浜開港祭の花火の見物場所としての利用

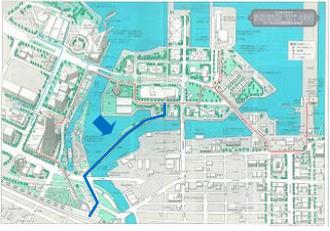
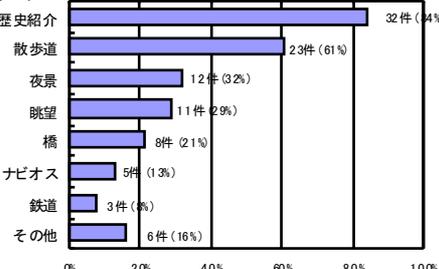
◆利用頻度

- ・利用頻度で、「イベントへの参加・鑑賞」と「写真撮影やスケッチ」以外の利用については、ほぼ毎日利用するという人が見られた。
- ・「散歩も兼ねた通り道として利用」は最も頻度が高く、半数以上の人々が月2~3回以上利用している。

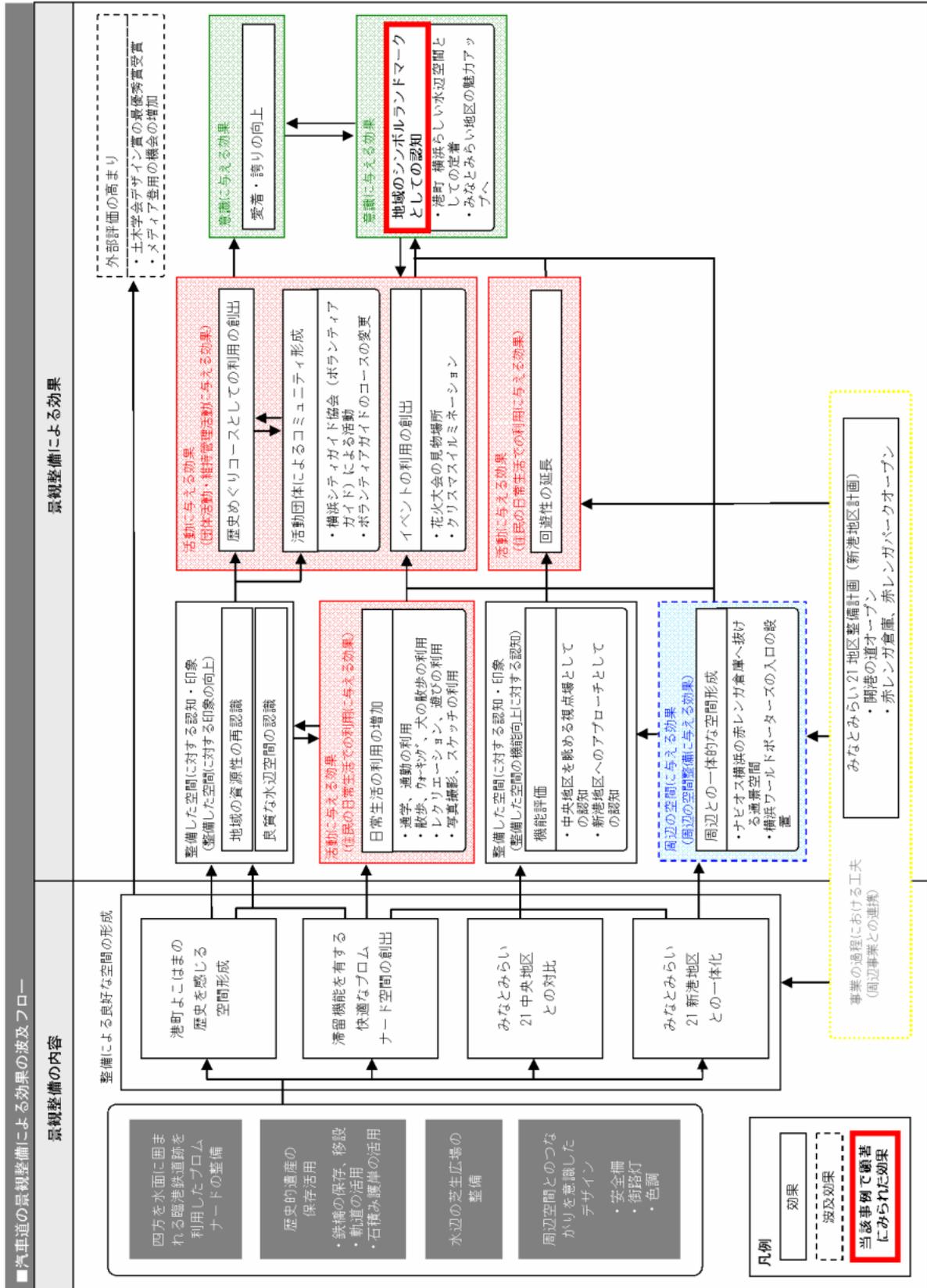
③コミュニティの形成

・横浜シティガイド協会のボランティアガイドでは、参加者、ガイドともに横浜市民が多く地域のコミュニティを形成

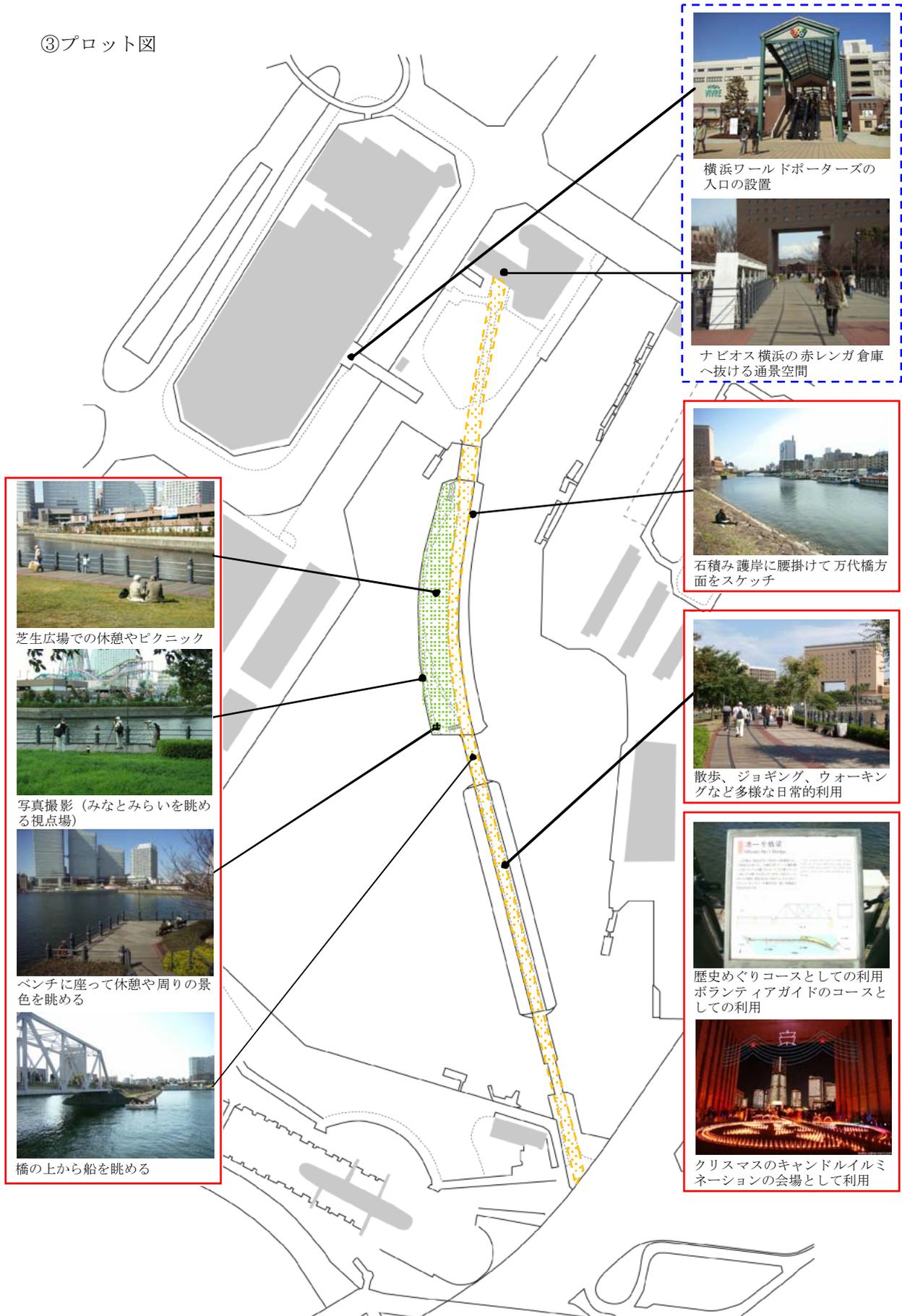
ピアリング (横浜シティガイド協会)

団体活動、維持管理活動に与える効果	① イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス時のキャンドルイルミネーション「キャンドルナイト」(12月23日～25日)の会場としての利用</li> <li>・横浜シティガイド協会によるボランティアガイドや歴史巡りのコースとしての利用</li> </ul> <p>(※赤：整備前コース、青：整備後コース)</p>	 <p>(写真)キャンドルナイトの様子</p>  <p>(図)ボランティアガイドコースの変更前と変更後</p>	ヒアリング(横浜シティガイド協会、(株)横浜インポートマーケット)																										
	③ 地域団体の活動の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアガイドによる横浜新港地区の歴史の学習</li> <li>・自動車道整備に関する都市デザイン室からの講義の開催</li> </ul>		ヒアリング(横浜シティガイド協会)																										
景観整備による波及効果		調査結果																												
周辺の空間に与える効果	隣接する空間整備に与える効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナビオス横浜の赤レンガ倉庫へ抜ける通景空間の設置</li> <li>・横浜ワールドポーターズの入口の設置</li> </ul>	  <p>(写真)ナビオス横浜の通景空間 (写真)横浜ワールドポーターズの入口</p>	文献調査 ヒアリング：横浜市都市デザイン課																										
	周辺の空間整備に与える効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「開港の道」の設定</li> </ul>	  <p>(写真)開港の道のルートと印</p>	ヒアリング：横浜市都市デザイン課																										
外部評価の高まり	① 外部機関(専門家)からの表彰等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木学会デザイン賞優秀賞受賞</li> </ul>		文献調査																										
	② マスコミ・メディア掲載の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEBにおける掲載トータル39,000件</li> <li>・上位100件のうち、ウェブサイト38件の紹介</li> </ul>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史紹介</td> <td>32件</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>散歩道</td> <td>23件</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>夜景</td> <td>12件</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>眺望</td> <td>11件</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>橋</td> <td>8件</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>ナビオス</td> <td>5件</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>鉄道</td> <td>3件</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6件</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table>	種別	件数	割合	歴史紹介	32件	44%	散歩道	23件	61%	夜景	12件	32%	眺望	11件	29%	橋	8件	21%	ナビオス	5件	13%	鉄道	3件	8%	その他	6件	16%
種別	件数	割合																												
歴史紹介	32件	44%																												
散歩道	23件	61%																												
夜景	12件	32%																												
眺望	11件	29%																												
橋	8件	21%																												
ナビオス	5件	13%																												
鉄道	3件	8%																												
その他	6件	16%																												

②効果の波及フロー図



③プロット図



横浜ワールドポーターズの入口の設置



ナビオス横浜の赤レンガ倉庫へ抜ける通景空間



石積み護岸に腰掛けて万代橋方面をスケッチ



芝生広場での休憩やピクニック



写真撮影（みなとみらいを眺める視点場）



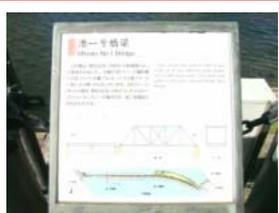
ベンチに座って休憩や周りの景色を眺める



橋の上から船を眺める



散歩、ジョギング、ウォーキングなど多様な日常的利用



歴史めぐりコースとしての利用  
ボランティアガイドのコースとしての利用



クリスマスのキャンドルイルミネーションの会場として利用